

# 雪に関する防災気象情報

R5.12.15 運輸防災マネジメントセミナー

仙台管区気象台気象防災部予報課

主任予報官 加茂 祐一

# 大雪による影響

## 強い冬型の気圧配置による大雪により交通障害が発生した事例

- 令和3年12月から令和4年1月の強い冬型の気圧配置による交通障害が発生
- 国道4号においてスタック発生、交通混雑【写①】
- E4東北道、E4A青森道が通行止めとなり、並行する国道7号においてスタック発生、交通混雑【写②】
- 国道7号において吹き溜まりを起因とするスタック発生、交通混雑【写③】
- E13東北中央道が通行止めとなり、並行する国道13号においてスタック発生、交通混雑【写④】



【写①】R3.12.27  
国道4号の交通混雑状況



【写②】R3.12.28  
国道7号の交通混雑状況



【写③】R4.1.4  
国道7号の交通混雑状況



【写④】R3.12.28  
国道13号の交通混雑状況

- 大雪により路面状況が悪化  
→ スタック・事故が発生し、大規模な車両滞留につながる場合がある  
→ 物流への影響

- 大雪による交通障害を避けるには  
→ 冬タイヤ装着・チェーン携行  
→ 大雪となりそうなルート・日を避ける  
☆ 「雪に関する防災気象情報」の活用

# 雪に関する気象防災情報

- 大雪に関する早期注意情報（警報級の可能性）
- 大雪に関する気象情報
- 大雪警報・注意報
- 解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報

# 大雪に関する早期注意情報

	翌日まで	2日先から5日先まで
	積乱雲や線状降水帯などの小規模な現象に伴う大雨等から、台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨等までが対象。	台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨等が主な対象。
発表時刻・発表単位	天気予報に合わせて発表 毎日05時・11時・17時に、一次細分区域ごとに発表	週間天気予報に合わせて発表 毎日11時・17時に、府県予報区ごとに発表
<p style="text-align: center; font-size: 24px; color: red; font-weight: bold;">[高]</p> <p>対象区域内のいずれかの市町村で警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。</p>	<p>翌日までの期間に早期注意情報（警報級の可能性）の [高] が発表されたときは、危険度が高まりつつあり、<u>「警報に切り替える可能性が高い注意報」</u>や<u>「予告的な府県気象情報」</u>等がすでに発表されているか、まもなく発表されることを表しています。命に危険が及ぶような<u>警報級の現象が予想される詳細な時間帯を気象警報・注意報等で確認してください。</u></p>	<p>数日先の早期注意情報（警報級の可能性）の [高] や [中] が発表されたときは、<u>心構えを早めに高めて、これから発表される「台風情報」や「予告的な府県気象情報」</u>の内容に十分留意するようにしてください。</p>
<p style="text-align: center; font-size: 24px; color: blue; font-weight: bold;">[中]</p> <p>[高] ほど可能性が高くないが、対象区域内のいずれかの市町村で警報を発表するような現象発生の可能性がある状況。</p>	<p>翌日までの期間に早期注意情報（警報級の可能性）の [中] が発表されたときは、これをもって直ちに避難等の対応をとる必要はありませんが、<u>深夜などの警報発表も想定して心構えを一段高めておく</u>ようにしてください。</p>	

「高」の方が「中」よりも空振りが少ない。

「翌日まで」の方が「2日先から5日先まで」よりも見逃しが少ない。



# 大雪に関する早期注意情報

福島県警報級の可能性 (明後日以降)

令和4年12月16日11時00分 福島地方气象台発表

警報級の可能性(明後日以降)

細分名	雨				雪				風(風雪)				波				高潮			
	18日	19日	20日	21日	18日	19日	20日	21日	18日	19日	20日	21日	18日	19日	20日	21日	18日	19日	20日	21日
[福島県]中通り・浜通り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[福島県]会津	-	-	-	-	中	中	-	-	-	-	-	-								

福島県警報級の可能性 (明日まで)

令和4年12月17日17時00分 福島地方气象台発表

警報級の可能性(明日まで)

細分名	雨		雪		風(風雪)		波		高潮	
	18-06	06-24	18-06	06-24	18-06	06-24	18-06	06-24	18-06	06-24
[福島県]中通り	-	-	-	-	-	-				
[福島県]浜通り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[福島県]会津	-	-	-	中	-	-				

雪の警報級の可能性

細分名	要素	今日	明日			
		18-06		06-24		
		18-24	00-06	06-12	12-18	18-24
[福島県]中通り	階級値	-		-		
	S6	1cm	0cm 山沿い 12cm	0cm 山沿い 12cm	1cm 山沿い 12cm	3cm 山沿い 15cm
	S24	10-20cm				
[福島県]浜通り	階級値	-		-		
	S6	0cm	0cm	0cm	0cm	1cm 山沿い 3cm
	S24	1-5cm				
[福島県]会津	階級値	-		中		
	S6	5cm	2cm	4cm	9cm	30cm
	S24	50-70cm				

# 大雪に関する気象情報

- 文章形式か図形式
- 東北地方を対象とした「東北地方情報」と各府県を対象とした「府県気象情報」がある
- 災害に結びつく大雪が翌日～2日先に予想された場合に発表する「予告的」内容
- 大雪が発現中に、実況の経過や今後の予測について記述する「補足的」内容（発表中の警報・注意報を補足）
- 短時間（概ね3～6時間）に降雪量が多くなった場合「顕著な大雪に関する気象情報」（山形県・福島県会津を対象に運用）  
※北陸地方でも運用

# 大雪に関する気象情報

大雪に関する東北地方気象情報 第1号  
令和4年12月16日15時00分 仙台管区气象台発表

(見出し)

東北地方では、18日から19日頃にかけて強い冬型の気圧配置となるため、東北日本海側南部を中心に大雪となる見込みです。大雪による交通障害に注意・警戒し、屋根からの落雪、電線や樹木への着雪に注意してください。

(本文)

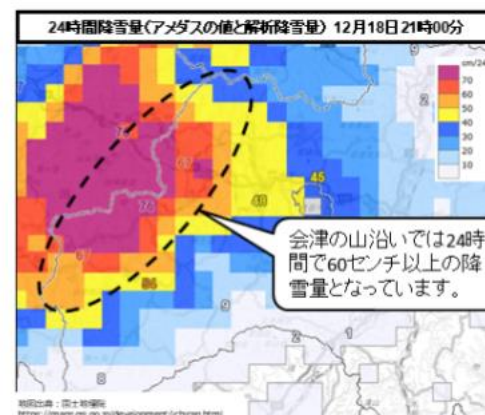
東北地方では、18日から19日頃にかけて、冬型の気圧配置が強まるでしょう。  
このため、東北日本海側南部を中心に大雪となる見込みです。寒気の程度によっては、強い雪が降り続き、局地的に警報級の大雪となるおそれがあります。大雪による交通障害に注意・警戒し、屋根からの落雪、電線や樹木への着雪に注意してください。

【補足事項】

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。  
次の「大雪に関する東北地方気象情報」は、17日5時30分頃に発表する予定です。

大雪に関する福島県気象情報 第6号  
令和4年12月18日22時05分 福島地方气象台発表

金山では18日21時までの3時間に21センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は19日明け方にかけて続く見込みです。会津中部では、大雪による大規模な交通障害に厳重に警戒してください。



福島県では、会津を中心に大雪となっています。

【雪の実況】  
18日21時現在までの24時間降雪量(アメダスによる速報値)

金山	76センチ
西会津	67センチ
只見	67センチ

【雪の予想】  
18日21時から19日21時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

会津山沿い	60センチ
会津平地	40センチ

の見込みです。

なお、金山では、18日21時までの12時間降雪量が62センチとなり、観測史上最大を記録しています。(統計開始:2007年)

18日21時24分に「顕著な大雪に関する福島県気象情報」を発表しました。

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。  
次の「大雪に関する福島県気象情報」は、19日6時頃に発表する予定です。

# 顕著な大雪に関する気象情報

- 府県気象情報のみ・文章形式
- 気象庁HPの「気象情報」から閲覧可能
- 短時間の降雪により、道路状況が急速に悪化する可能性を伝え、一層の警戒を呼び掛ける情報

## 山形県

### 目安

大雪警報を発表している地域において、次の値（降雪量の目安）以上の降雪量を観測し、その後の降雪により警報基準の概ね1.3倍以上の降雪量を予想した場合。

### <降雪量の目安>

- |     |   |
|-----|---|
| 平地  | 6時間に25～30センチの降雪量を観測 かつ<br>その後の降雪により12時間降雪量が40～50センチを超過すると予想 |
| 山沿い | 6時間に30～40センチの降雪量を観測 かつ<br>その後の降雪により12時間降雪量が60～70センチを超過すると予想 |

ただし、降雪量はアメダス観測所で判断し、6時間と12時間降雪量は同一観測所を対象とする。

## 福島県（会津）

### 目安

大雪警報を発表している地域において、次の値（短時間の降雪量の目安）以上の降雪量及び警報基準以上の降雪量を観測し、24時間降雪量が大雪警報基準の2倍に達すると予想した場合。

### <短時間の降雪量の目安>

3時間降雪量20～25センチまたは6時間降雪量30～40センチを観測

ただし、降雪量はアメダス観測所で判断し、3時間または6時間と12時間降雪量、及び24時間降雪量は、同一観測所を対象とする。

顕著な大雪に関する福島県気象情報 第1号  
令和4年12月18日21時24分 福島地方気象台発表

### （見出し）

金山では、18日21時までの3時間に21センチの記録的な降雪を観測し、12時間の降雪量が62センチに達しました。この強い雪は19日明け方にかけて続く見込みです。会津中部では、短時間の大雪に伴って路面状況が急激に悪化し、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。大雪に厳重に警戒してください。

### （本文）

なし

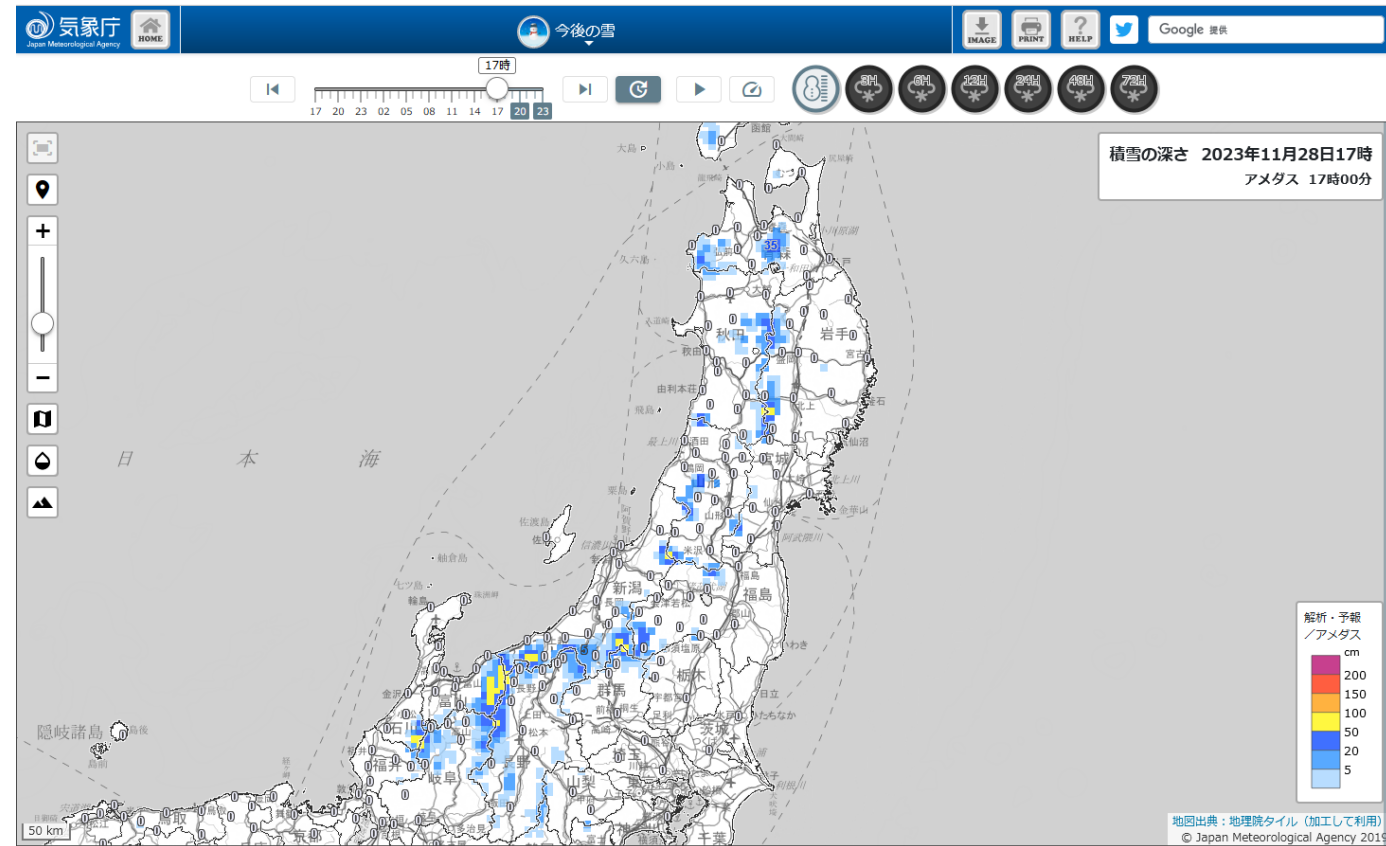




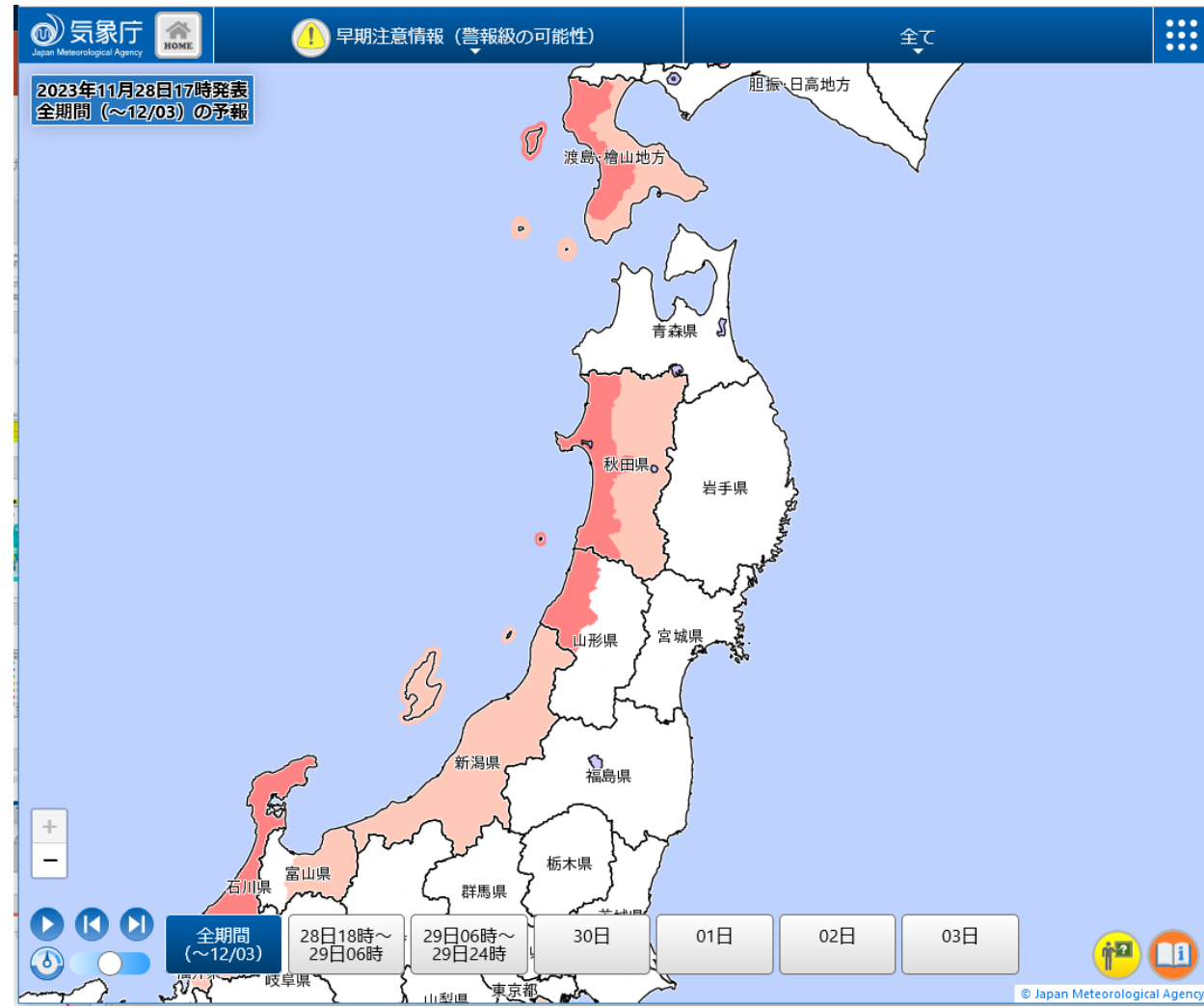
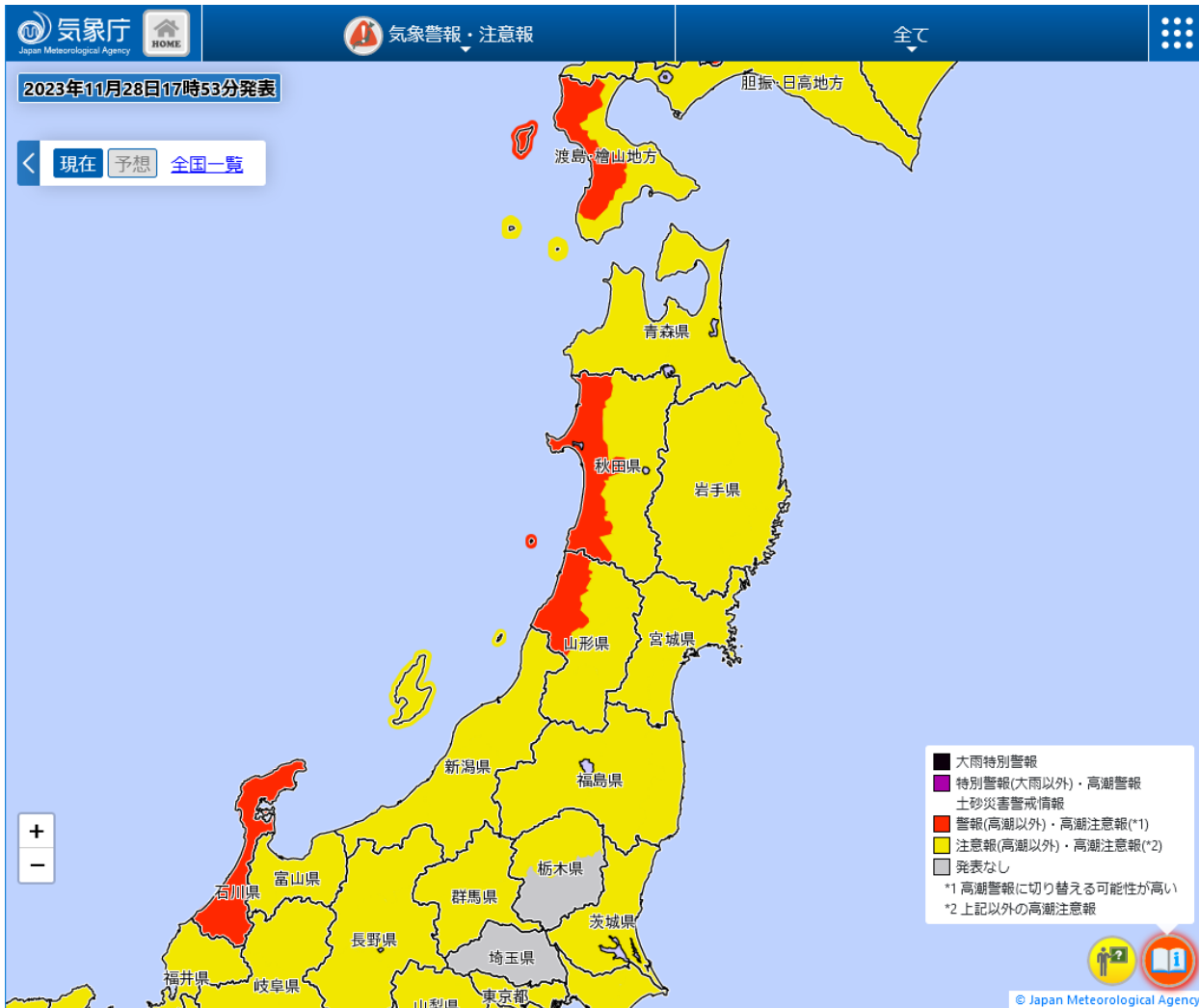


# 解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報 (今後の雪)

- 積雪深・降雪量（3・6・12・24・48・72時間）を分布（5km格子相当）で把握できる
- 6時間先までの積雪深・降雪量を予想
- 1時間おきに更新
- 気象庁HPで閲覧可能
- 積雪深・降雪量の値は目安程度（多い・少ない）に扱う



# 気象庁HPでは地図表示が可能です





# 気象庁HPの使い方

The screenshot shows the Japan Meteorological Agency (JMA) website. At the top, there are navigation links for 'HOME', 'Disaster Information', 'Various Data & Information', and 'Regional Information'. A blue banner highlights the 'Disaster Information' section. Below the banner, there is a search bar and a navigation menu with 'Disaster Information' and 'Weather' options. The main content area is titled 'Disaster Information' and features a sub-menu with 'Weather Disaster', 'Earthquake & Tsunami', and 'Volcano'. The 'Weather Disaster' sub-menu is expanded, showing a list of links: 'Weather Warning & Advisory', 'Early Warning Information (Possibility of Warning Level)', 'Heavy Rain Hazard', 'Kikaku (Hazard Distribution) / Landslide / Flooding', 'Rain Cloud Movement (Light Version)', 'Future Rain (Light Version)', 'Weather Information', 'Typhoon Information', 'Designated River Flood Forecast', 'Landslide Disaster Warning Information', 'Tornado Warning Information', 'Heatstroke Warning Alert', 'Future Snow (Renewing Current Snow)', 'Tsunami Warning & Forecast', 'Earthquake Information', 'Estimated Seismicity Distribution Map', 'Long-Period Earthquake Observation Information', 'South Sea Trench Earthquake Related Information', 'Hokkaido, Sanriku Region Earthquake Information', and 'Epicenter Distribution'. The 'Volcano' sub-menu includes 'Volcanic Activity Report & Forecast', 'Ashfall Forecast', and 'Volcanic Gas Forecast'. The left sidebar contains a 'News Release' section with dates and headlines.

## 防災情報

### ☑ 気象防災

- ▶ 気象警報・注意報
- ▶ 早期注意情報（警報級の可能性）
- ▶ 大雨危険度
- ▶ キキクル（危険度分布）  
土砂 / 浸水 / 洪水
- ▶ 雨雲の動き（軽量版）
- ▶ 今後の雨（軽量版）
- ▶ 気象情報
- ▶ 台風情報
- ▶ 指定河川洪水予報
- ▶ 土砂災害警戒情報
- ▶ 竜巻注意情報
- ▶ 熱中症警戒アラート
- ▶ 今後の雪  
（※現在の雪をリニューアル）

# 地域（各都道府県）の情報もあります

The screenshot displays the Japan Meteorological Agency (JMA) website. At the top, there is a navigation bar with the JMA logo, language options (ENGLISH, Other Languages), and a search bar. Below the navigation bar, there are tabs for Home, Disaster Information, Various Data/Information, Regional Information (selected), Knowledge/Explanation, and Various Applications/Inquiries. A large banner for 'imatome' (イマトメ) is featured, advertising an 'All-in-One Disaster Management Service' with a '連携' (Linkage) button and a link to 'Check for damage to the relevant business premises!'. Below the banner, the 'Regional Information' section is highlighted, with a breadcrumb trail: 'JMA Home > Regional Information'. The 'Regional Information' section includes a description: 'This is a collection of links to home pages managed by national meteorological agencies. It provides information on disaster history, climate characteristics, disaster-related public relations events, and daily life information for everyone's benefit.' Below this, there are four columns of regional links: Hokkaido, Tohoku, Kanto/Chubu, and Kinki. Each column lists specific prefectures and regions with expandable arrows. At the bottom, there are additional regional categories: Hokuriku, Chugoku, and Shikoku. On the left side of the page, there is a sidebar with a 'Home' tab, 'Disaster Information' tab, and a 'Report Release' section. The 'Report Release' section shows two recent reports from November 2023 (令和5年11月29日 and 令和5年11月20日) regarding volcanic activity.

国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

ENGLISH Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 YouTube 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

[広告]

imatome (イマトメ)  
オールインワン危機管理サービス

連携  
該当の事業所へ被害確認!

気象庁ホーム > 地域の情報

## 地域の情報

全国の気象台等が管理するホームページへのリンク集です。  
地域の災害履歴や気候特性の解説、防災関係の広報イベントなど、みなさまの日々の暮らしに役立つ情報をお届けします。

- 北海道
  - 宗谷地方
  - 上川・留萌地方
  - 石狩・空知・後志地方
  - 網走・北見・紋別地方
  - 釧路・根室地方
  - 十勝地方
  - 胆振・日高地方
  - 渡島・檜山地方
- 東北
  - 青森県
  - 秋田県
  - 岩手県
  - 宮城県
  - 山形県
  - 福島県
- 関東甲信
  - 茨城県
  - 栃木県
  - 群馬県
  - 埼玉県
  - 東京都 (小笠原諸島除く)
  - 小笠原諸島
  - 千葉県
  - 神奈川県
  - 長野県
  - 山梨県
- 東海
  - 静岡県
  - 愛知県
  - 岐阜県
  - 三重県
- 北陸
  -
- 近畿
  -
- 中国
  -
- 四国
  -

【お知らせ】5月24日以降、気象庁HP

### 報道発表

令和5年11月29日

お知らせ ひまわり9号の保守作

報道発表 今年の南極オゾンホール

報道発表 「防災気象情報に関する

令和5年11月20日

報道発表 令和5年11月20日15時ア)の大規模噴火について(第2報)

報道発表 令和5年11月20日15時ア)の大規模噴火について

## ● 仙台管区気象台の最新情報

**お知らせ** 令和5年11月28日  
巨大地震オンライン講演会を開催します（ライブ配信・事前登録制・参加無料）

**お知らせ** 令和5年11月27日  
仙台で初雪を観測しました

**お知らせ** 令和5年11月22日  
11月24日から26日にかけての降雪について

**お知らせ** 令和5年11月21日  
R5年度一般職(高卒程度)官庁訪問のお知らせ

**お知らせ** 令和5年11月14日  
仙台で初霜を観測しました

**お知らせ** 令和5年11月13日  
泉ヶ岳で初冠雪を観測しました

### ▶ 過去のトピックス

仙台管区気象台について

仙台管区気象台から

仙台管区気象台作成の各種データ・資料

仙台管区気象台の知識・解説のページ

記者発表資料

令和5年11月22日  
東北地方整備局  
仙台管区気象台  
東北運輸局  
東日本高速道路株式会社東北支社

## 11月24日から26日にかけての降雪について

11月24日から26日にかけての積雪や路面凍結に備え、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

- 東北地方では、24日から26日頃にかけて冬型の気圧配置となり、上空約1500メートルには真冬並みの寒気が流れ込む見込みです。このため、東北南部の平地でも雪の積もる所があるでしょう。
- 平地部・山間部ともに積雪や路面凍結、ふぶきによる交通障害に注意・警戒してください。
- 外出をされる場合やお仕事で車を使用される場合には、必ず冬タイヤの装着とチェーンの携行をお願いします。
- 降雪状況により、通行止め等の規制を実施する場合があります。広域迂回による通行、移動ルートの見直しにもご協力をお願いします。
- なお、山形県内の国道112号山道路において、異例の降雪がある時は、チェーン規制を実施します。
- 公共交通機関において、タイヤの乱れ等が発生する恐れがあります。鉄道・バス事業者等が発表する運行状況を確認してください。
- 最新の気象情報や道路情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動して頂くようお願いいたします。

(別紙1~2参照)

最新の気象情報や道路情報はこちらをご覧ください。

気象情報 [気象庁 HP]  
(天気分布予報) <https://www.jma.go.jp/bosai/wdist/>  
(今後の雪) <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

道路情報 [国交省 HP]  
<http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/fuyulink/index.html>  
<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/po/>

[NEXCO 東日本]  
<https://www.e-nexco.co.jp/>  
<https://www.drivetraffic.jp/map.html>

(発表記者会) 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会





# 大雪時の道路交通確保対策について

令和 5年12月15日  
道路部 道路管理課

## 令和4年度 東北地方整備局管内の降雪状況

- 過去5カ年で、3番目(中央値)の降雪量。
- 東北地方整備局管内の年間累加降雪量は、過去5カ年比で0.9倍。
- 都市部では過去5カ年比0.6~1.3倍、山地部では0.8~1.1倍。

○累加降雪量(県別) (観測点の加重平均値)

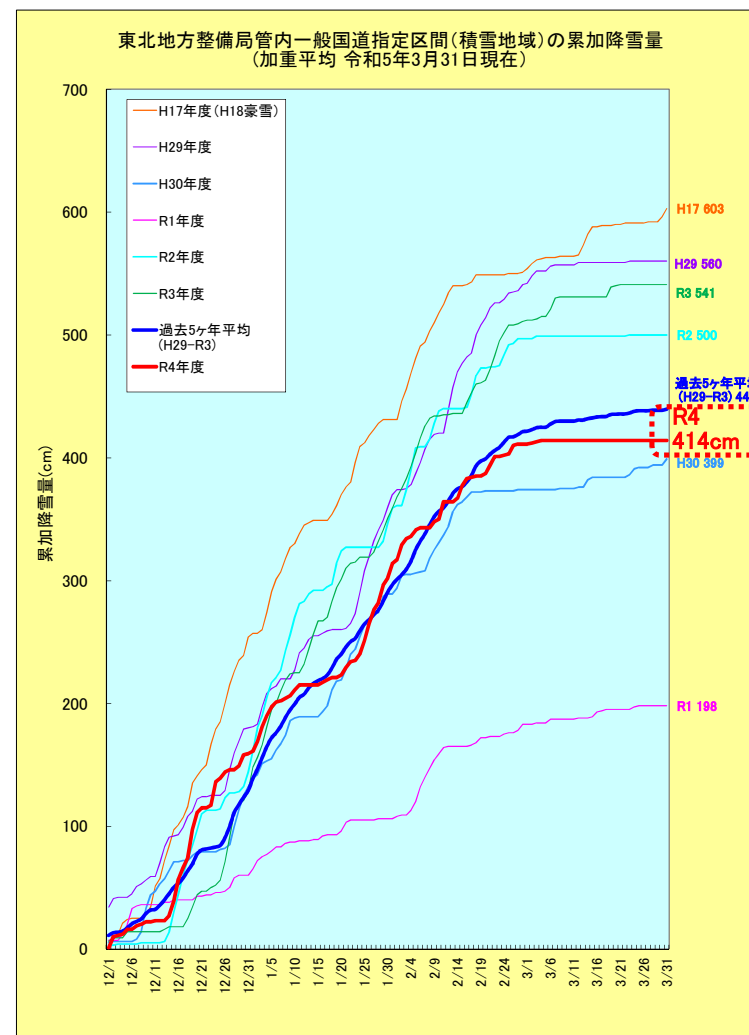
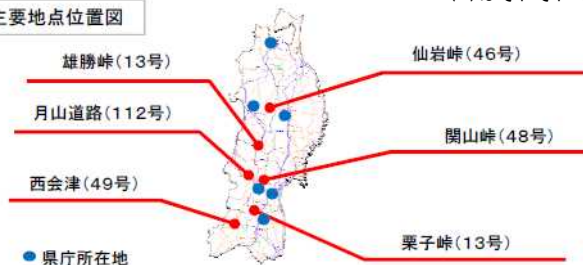
	今年	前年同日比	例年(過去5年)同日比	観測点数
青森県	548 cm	1.0 (541cm)	1.2 (463cm)	4
岩手県	319 cm	0.8 (385cm)	1.0 (317cm)	4
宮城県	203 cm	0.6 (364cm)	0.7 (290cm)	5
秋田県	334 cm	0.7 (475cm)	0.8 (406cm)	10
山形県	574 cm	0.8 (742cm)	1.0 (595cm)	16
福島県	275 cm	0.6 (485cm)	0.8 (339cm)	6
管内	414 cm	0.8 (541cm)	0.9 (440cm)	45

○主要地点の降雪・積雪 ( )はそれぞれの同日累加降雪量

	箇所名	今年		前年同日比		例年(過去5年)同日比	
		累加降雪量	積雪深	累加降雪量	積雪深	累加降雪量	積雪深
都市部	青森市	705 cm	0 cm	1.0 (732cm)	— (0cm)	1.2 (576cm)	— (0cm)
	盛岡市	200 cm	0 cm	1.2 (170cm)	— (0cm)	1.3 (153cm)	0.0 (2cm)
	仙台市	40 cm	0 cm	1.0 (42cm)	— (0cm)	1.1 (38cm)	— (0cm)
	秋田市	116 cm	0 cm	0.4 (277cm)	— (0cm)	0.6 (198cm)	— (0cm)
	山形市	159 cm	0 cm	0.6 (285cm)	— (0cm)	0.9 (182cm)	0.0 (1cm)
	福島市	47 cm	0 cm	0.4 (106cm)	— (0cm)	0.7 (66cm)	0.0 (0cm)
山地部	仙岩峠(46号)	608 cm	0 cm	0.7 (829cm)	— (0cm)	1.0 (620cm)	0.0 (0cm)
	雄勝峠(13号)	806 cm	54 cm	0.8 (988cm)	0.5 (113cm)	0.8 (952cm)	0.8 (67cm)
	関山峠(48号)	548 cm	0 cm	0.7 (768cm)	0.0 (45cm)	1.1 (485cm)	0.0 (11cm)
	月山道路(112号)	2,095 cm	229 cm	1.0 (2144cm)	0.7 (350cm)	1.1 (1886cm)	0.8 (271cm)
	栗子峠(13号)	794 cm	0 cm	0.6 (1319cm)	0.0 (75cm)	0.8 (950cm)	0.0 (16cm)
	西会津(49号)	364 cm	0 cm	0.6 (621cm)	— (0cm)	0.9 (414cm)	— (0cm)

( )はそれぞれの同日累加降雪量・積雪深

主要地点位置図



▲管内積雪地域 指定区間45箇所の累加降雪量(加重平均)

○過去5年の交通障害発生状況は以下のとおり

## 1. 集中除雪の通行止め

- ・R4 14件(うち災対法適用0回)【 71時間40分 】
- ・R3 10件(うち災対法適用2回)【 64時間57分 】
- ・R2 2件(うち災対法適用0回)【 9時間10分 】
- ・R1 無
- ・H30 1件(うち災対法適用0回)【 2時間50分 】

## 2. 雪崩による通行止め

- ・R4 無
- ・R3 1件 【 18時間33分 】
- ・R2 無
- ・R1 無
- ・H30 無

## 3. 視程障害(吹雪)による通行止め

- ・R4 6件【 81時間35分 】
- ・R3 19件【 194時間16分 】
- ・R2 31件【 225時間47分 】
- ・R1 無
- ・H30 無



## ■南岸低気圧による豪雪への対応(H26.2.14～16)

◆ 平成26年2月14日～16日にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進んだ低気圧により、関東甲信及び東北地方南部で記録的な大雪となった。

※ 15日8時頃以降の東北道通行止めにより約3万台の交通が国道4号へ流入し、福島県県北～宮城県県南で交通障害が発生。



▲ 国道4号 二本松地区のスタック状況(防災ヘリ「みちのく号」画像)



▲ 国道4号 福島・宮城県境部のスタック状況



16日(日)23時30分頃 R4(上下)福島市伏拝地区  
清水跨道橋 上下線をふさぐ大型トラック



## ■立ち往生車両発生状況



①日時:平成27年1月30日16:00頃  
場所:国道6号 福島県いわき市～喜岡町  
備考:災害対策基本法に基づく区間指定を実施



②日時:平成27年3月11日7:40頃  
場所:国道49号 福島県郡山市～猪苗代町  
備考:災害対策基本法に基づく区間指定を実施

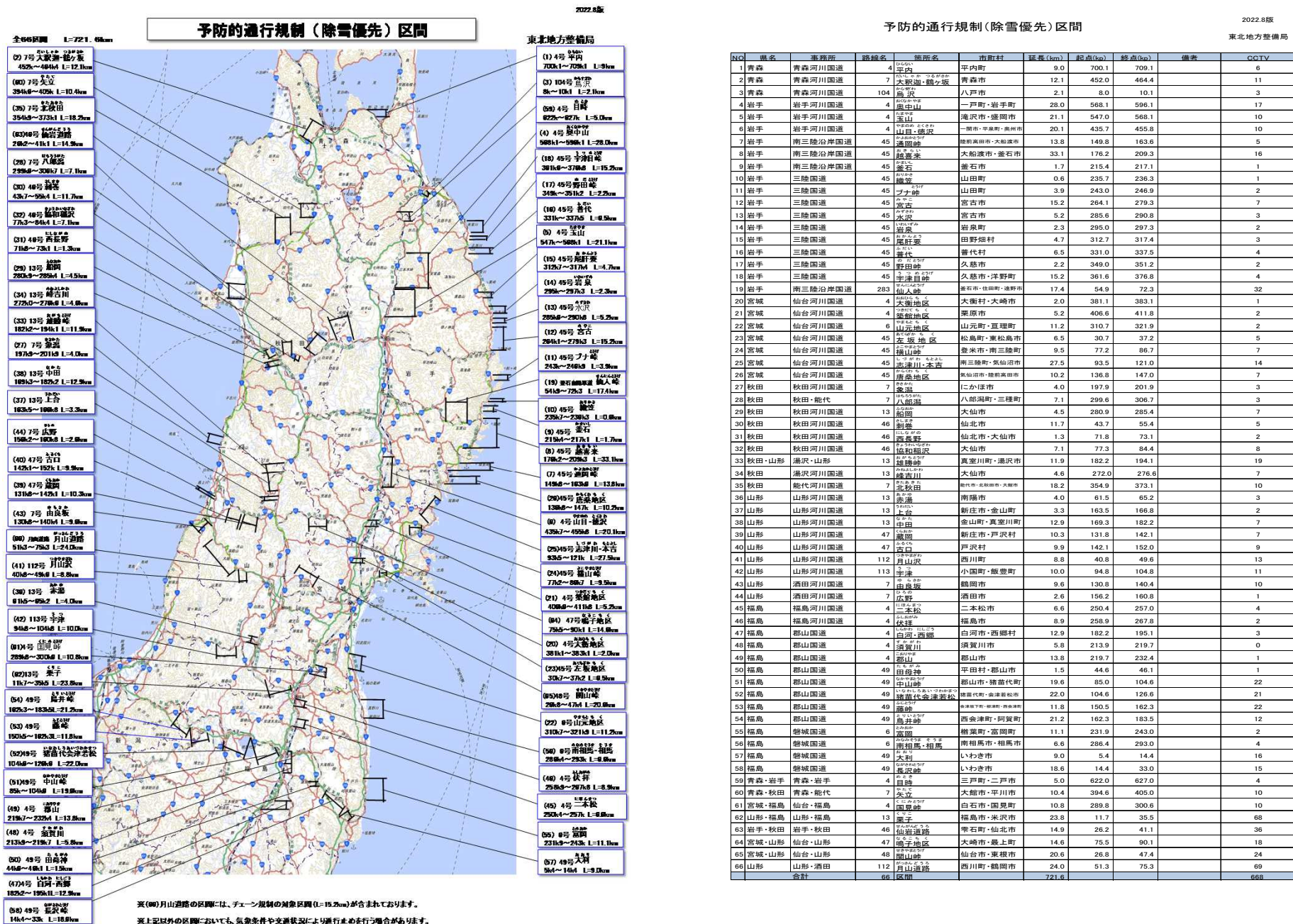


③日時:平成28年1月18日15:30頃  
場所:国道48号 宮城県仙台市～山形県東根市  
備考:通行止めを伴う集中除雪



④日時:平成29年1月21日10:00頃  
場所:国道45号 岩手県宮古市  
備考:除雪車による立ち往生車両の牽引

## ■ 予防的通行規制区間の設定（東北地整管内 66区間）





## ○関係機関との会議等の開催

- ・宮城県冬期交通確保に関する意見交換会 <令和4年10月19日開催>  
参加者：国（仙台河国）、県、警察、NEXCO、公社  
⇒ 各関係機関の実務担当者より、冬期交通確保に向けた現状での課題について説明していただき、互いに情報を共有することができた。また、そのための対策方法についても議論を重ね、課題解決に向けた一つの足がかりとなった。
- ・宮城県冬期交通確保に関する調整会議 <令和4年11月21日開催>  
参加者：国（整備局、南三陸沿岸国道、仙台河国）、県、市、警察、NEXCO、公社、気象台等  
⇒ 「大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ」の内容や情報連絡本部の設置について互いに再確認でき、併せて道路交通確保に向けた取り組みについて各関係機関から情報提供をいただいたことで、冬期交通確保への認識を共有することができた。  
今年度においても11月20日に開催済み。



宮城県冬期交通確保に関する調整会議（令和4年11月21日）

## ＜4者合同記者発表による出控え等要請＞

- ◆大雪により交通障害発生の可能性がある場合、4者合同(東北地整・仙台管区气象台・東北運輸局・NEXCO東日本)での記者発表を実施。
- ◆令和4年度は5回実施。 ※令和5年に入って、4者合同の報道発表を2回実施。

### 記者発表資料

令和5年2月9日  
東北地方整備局  
仙台管区气象台  
東北運輸局  
東日本高速道路株式会社東北支社

## 2月10日から11日にかけての大雪について

2月10日から11日にかけての東北地方太平洋側南部の大雪に備え、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

- 2月10日から11日にかけて低気圧が発達しながら本州の南岸を東へ進む見込みです。このため、2月10日昼頃から11日朝にかけて、東北地方は太平洋側南部を中心に湿った雪が降り、平地でも大雪となる所がある見込みです。
- 普段雪の少ない地域で大雪となる可能性があります。湿った雪による大雪や路面凍結による交通障害に注意・警戒が必要です。
- 自力走行不能車両が一台でも発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる恐れがあります。お車を運転する場合には、必ず冬タイヤの装着とチェーンの携行・装着をお願いします。
- 大規模な車両滞留を回避するため、除雪能力を超える降雪が予測される場合には、予防的計画的に通行止めを行う可能性があります。また、高速道路が通行止めになった場合には、並行する国道等も同時に通行止めを行う可能性があります。
- 道路利用者の方々には、不要不急の外出を自粛いただくことと併せて、広域迂回などの通行経路の変更をお願いするとともに、通行止めとなる場合には、道路上ではない降雪の少ない場所でお待ちいただくようお願いいたします。
- 公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生する恐れがあります。鉄道・バス事業者等が発表する運行状況を確認してください。
- 運送事業者及び荷主企業の皆様におかれましても、今後の気象予報等をご確認いただき、広域迂回や運送日の調整等をご検討いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 高速道路の通行止めの可能性については、NEXCO 東日本のホームページに掲載して参ります。
- 最新の気象情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動して頂くようお願いいたします。

(別紙1～2参照)

## 2月10日から11日にかけての大雪について【東北地方】

【別紙1】  
東北地方整備局  
仙台管区气象台  
東北運輸局  
東日本高速道路株式会社東北支社

### 【1. 今後の気象の見通し】

#### 2月10日から11日にかけての東北地方の大雪

＜注意・警戒が必要となる期間＞

大雪	警戒	9日		10日			11日			
	注意・警戒	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
	日本海側									
太平洋側										

#### 【気象概況】

- 2月10日から11日にかけて、低気圧が発達しながら本州の南岸を東へ進む見込みです。
- 東北地方は、太平洋側南部を中心に10日昼過ぎから湿った雪が降り、10日夜から11日朝にかけて平地でも大雪となる所がある見込みです。
- 地上付近の気温が予想よりも低くなった場合は沿岸部でも降雪量が多くなり、警戒級の大雪となるおそれがあります。
- 湿った雪による大雪や路面凍結による交通障害に注意・警戒してください。

#### ＜予想される降雪量＞

2月10日12時から11日12時までの24時間降雪量は、いずれも多い所で、太平洋側南部 平地山沿いともに 20から40センチ の見込みです。

- 気象庁HPで最新の気象情報をご覧ください。  
( <https://www.jma.go.jp/jma/index.html> )

### 【2. 昨年度の大雪による雪害事例】

#### 大雪により交通障害が発生した事例

- 令和3年12月から令和4年1月の大雪により交通障害が発生
- 国道4号においてスタック発生、交通混雑【写①】
- E4東北道、E4A青森道が通行止めとなり、並行する国道7号においてスタック発生、交通混雑【写②】
- 国道7号において吹き溜まりを起因とするスタック発生、交通混雑【写③】
- E13東北中央道が通行止めとなり、並行する国道13号においてスタック発生、交通混雑【写④】



【写①】R3.12.27  
国道4号の交通混雑状況



【写②】R3.12.28  
国道7号の交通混雑状況



【写③】R4.1.4  
国道7号の交通混雑状況



【写④】R3.12.28  
国道13号の交通混雑状況



## チェーン規制区間の設定

### 異例の降雪時の交通確保に向けた取り組み

#### ～東北地方のチェーン規制実施区間のお知らせ～

■大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪があるときに、チェーン規制を実施します。

大雪時に通行止めを実施する場合でも、チェーン規制を実施し、**タイヤチェーンを着けていれば通行できるようにすることで、これまでより積雪による通行止め時間を短くすることを目指します。**

(日常的な降雪時に実施するものではありません。)

※ 異例の降雪が予想される2～3日前から、交通障害が発生するおそれがあることについて、事前広報を行い、不要不急の外出を控えることや広域迂回などを、記者発表、ラジオやSNSなどを活用してお知らせしますので、お出かけの前の確認をお願いします。



チェーン規制標識  
「タイヤチェーンを取り付けない  
車両通行止め」

「チェーン規制」を実施する際は、規制実施区間の手前に上記の標識が掲示されますので、規制区間を走行される方は「チェーン」の装着をお願いします。

国土交通省  
山形県内 道路情報  
モバイルサイト



#### 広域図



国土交通省 東北地方整備局

#### チェーン規制実施区間

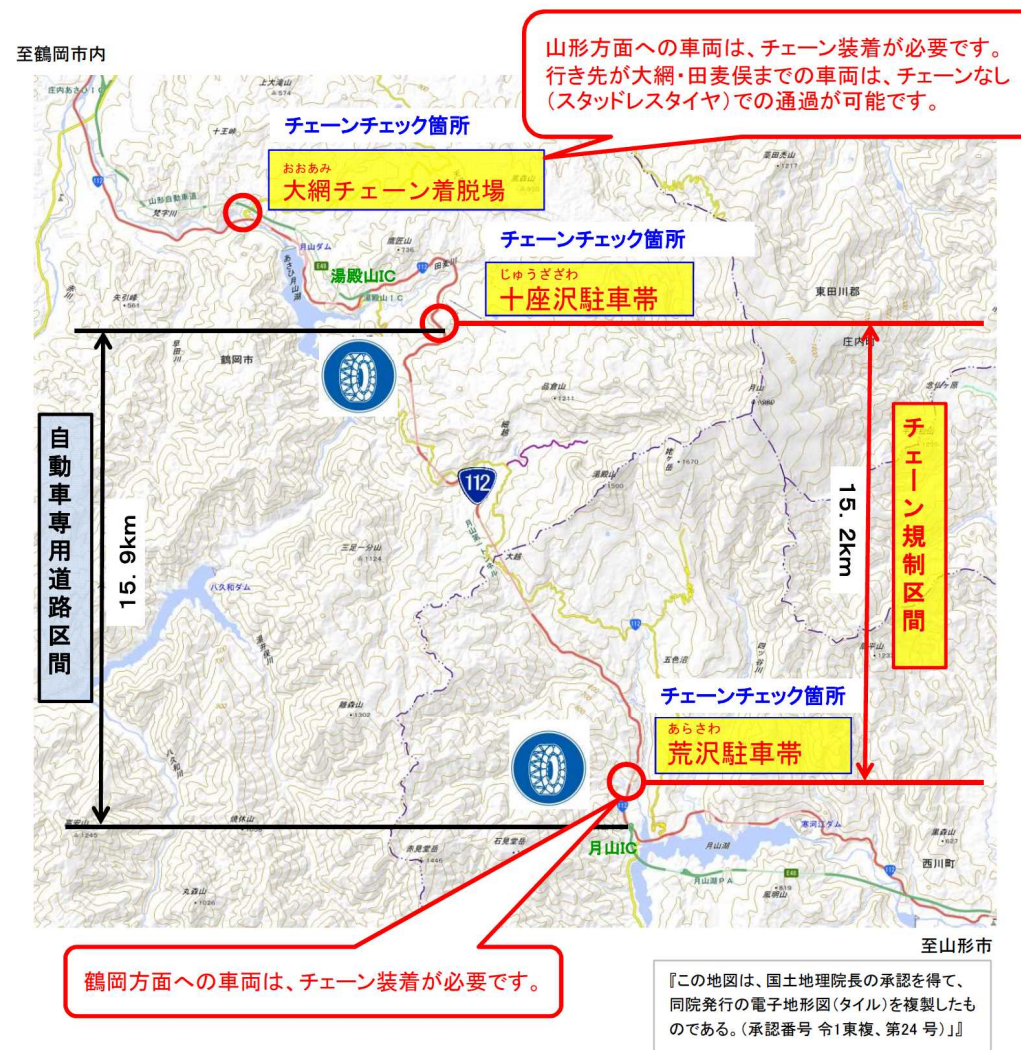
区間：国道112号 月山道路 L=15.2km  
(山形県西川町月山沢～鶴岡市田妻俣)

「大雪特別警報や大雪に対する緊急発表」が行われる異例の降雪時に交通状況に応じてチェーン規制を実施する予定です。



※チェーン規制についてのご質問は表面をご覧ください。

## 国道112号 チェーン規制区間





## I 冬期の道路交通を取り巻く環境

○近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、**短期間の集中的な大雪**\*が局所的に発生

※:大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪

○道路ネットワークの整備が進む中で、**車社会の進展、輸送の小口多頻度化等**により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ

○短期間の集中的な大雪時に、通常時と比べて自動車の利用台数に変化が見られたケースも存在

➡ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも変化の兆し(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

## II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

### 1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路と、並行する国道等を交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果、大規模な車両滞留につながったケースもある

### 2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、**地域単位で「情報連絡本部」を設置**
- 予防的通行規制区間の設定、除雪体制の応援等を実施**
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能

➡ これらの取り組みを実施している一方で、**大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している**

## III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

### これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「**自らが管理する道路を出来るだけ通行止めにしたくない**」ことや道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「**道路ネットワーク機能への影響を最小化**」を目標として対応

### 今後の考え方

「**人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること**」を基本的な考え方として対応

## IV 大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化

### 1. 道路管理者等の取り組み

#### (1) ソフト的対応

○**タイムライン(段階的な行動計画)の作成**

- ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施
- ・合同訓練実施 ・気象予測精度向上

○**除雪体制の強化**

- ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築

○**除雪作業を担う地域建設業の確保**

- ・契約方法の改善 ・予定価格の適正な設定等

○**除雪作業への協力体制の構築**

- ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等

○**チェーン等の装着の徹底**

- ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施

#### (2) ハード的対応

○**基幹的な道路ネットワークの強化**

- ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、大雪の観点からもネットワークを強化

#### (3) 地域特性を考慮した対応

- ・関係機関が連携する取り組みの具体化については他の地域においても参考にすべき

○**短期間の集中的な大雪時の行動変容**

- ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
- ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化

○**短期間の集中的な大雪時の計画的・予防的な通行規制・集中除雪の実施**

- ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の**同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避**
- ・リスク箇所の事前把握と監視強化

○**立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応**

- ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
- ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール、トリガーをタイムラインに位置づけ
- ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
- ・**地方整備局と地方運輸局等を中心とした乗員保護**

○**スポット対策、車両待機スペースの確保**

- ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
- ・中央分離帯開口部やUターン路の整備 等

### 2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

○**短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)**

- ・通行止めの必要性やジャスト・イン・タイムの限界への理解の促進

○**冬道を走行する際の準備**

- ・チェーン等の装備の備え

### 3. より効率的・効果的な対策に向けて

○**関係機関の連携の強化**

○**情報収集・提供の工夫**

○**新技術の積極的な活用**



## E17関越自動車道（新潟県）における大雪に伴う車両滞留

- E17関越道において、大型車のスタック等を契機に、約2,100台の滞留が発生。
- 自衛隊や警察等の協力による物資配布、中央分離帯開口部や渋滞後尾からのUターン等による車両救出を実施。

### ◇新潟市方面 時系列

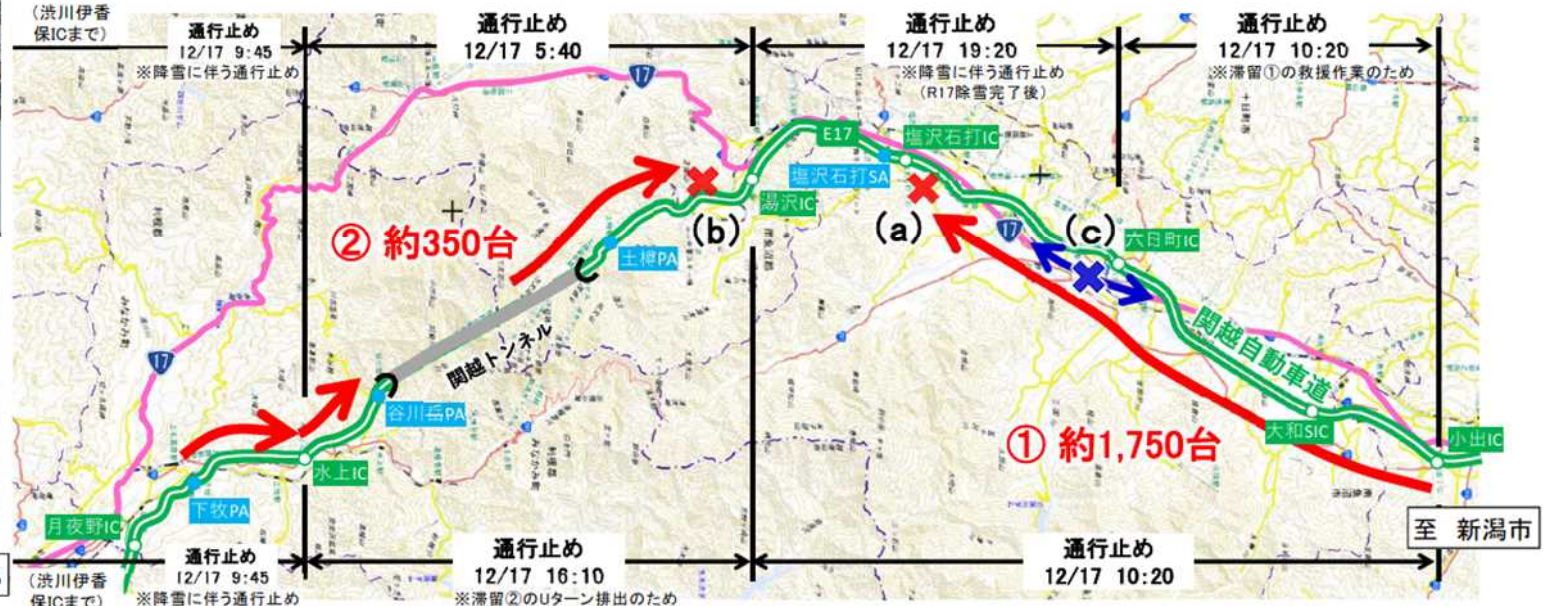
日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月16日	22:03	大型車スタック発生【(b)滞留②の要因】	12月17日	9:45	渋川伊香保IC～水上IC(上下線)通行止め開始	12月18日	5:20	滞留②のうち水上IC～谷川岳PA区間車両排出完了
				10:20	六日町IC～小出IC(新潟方面)通行止め開始		7:00	HP広報(残り約70台の滞留車両)
				11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		7:30	滞留②区間車両排出完了
				13:26	滞留②のうち下牧PA～水上IC区間車両排出完了		12:00	HP訂正広報(残り約1000台の滞留車両確認)
				14:10	滞留②を谷川岳PAの雪氷作業路でUターン排出開始			
				17:30	滞留②を関越TN手前の中分開口部でUターン排出開始			
				19:10	渋川伊香保IC～月夜野IC(上下線)通行止め解除	12月19日	17:30	湯沢IC～小出IC(上下線)通行止め解除
				19:20	湯沢IC～六日町IC(新潟方面)通行止め開始		21:30	月夜野IC～湯沢IC(新潟方面)通行止め解除



①滞留の状況



②滞留の状況



### ◇東京方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月16日	17:52	大型車スタック発生【(a)滞留①の要因】	12月17日	10:20	湯沢IC～小出IC(東京方面)通行止め開始	12月18日	7:00	HP広報(残り約70台の滞留車両)
	20:39	国道17号故障車により通行止め【(c)箇所】		11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		12:00	HP訂正広報(残り約1000台の滞留車両確認)
	22:00	滞留①の排出作業着手		11:45	滞留①を湯沢石打SA雪氷作業路でUターン排出開始		18:00	滞留①を中分開口部(湯沢石打～六日町)でUターン排出開始
				16:10	水上IC～湯沢IC(東京方面)通行止め開始		22:15	滞留①区間車両排出完了
				20:20	滞留①を後尾から逆走による排出開始			



### E8北陸自動車道（福井県）における大雪に伴う車両滞留

- E8北陸道において、大型車のスタック等を契機に、約1,600台の滞留が発生。
- 災害対策基本法に基づく区間指定を行い、警察、自衛隊、福井県の協力による物資配布、渋滞後尾からのUターン等による車両救出及び除雪作業を実施。
- 滞留解消までに長時間を要する見込みとなったことから、県や観光・運輸部局と連携して、一時避難希望者（23名）に対して、ホテルや宿泊所の提供を実施。

#### ◇金沢方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
1月9日	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b)滞留②③の要因】	1月10日	1:05	武生IC～福井IC（金沢方面） 雪により通行止め延伸	1月11日	7:00	滞留④区間 車両排出完了
	13:55	福井北IC 大型車の故障によるランプ閉鎖【(c)滞留④の要因】		1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼			
	22:20	金津IC～福井IC【災対法適用開始】		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請			
	23:25	渋滞延伸により福井IC～福井北IC（金沢方面） 通行止め開始		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
				10:10	福井北IC～加賀IC（金沢方面） 雪通行止め開始	1月12日	6:00	通行止め解除
				20:00	滞留③区間 車両排出完了			



#### ◇米原方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
1月9日	11:30	大型貨物の事故により車線閉塞【(a)滞留①の要因】	1月10日	1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼	1月11日	22:57	滞留②区間 車両排出完了
	11:40	福井IC～丸岡IC（米原方面） 事故通行止め開始		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請			
	12:12	丸岡IC部の本線物理的閉鎖		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b)滞留②③の要因】		10:00	丸岡IC～加賀IC（米原方面） 雪通行止め開始	1月12日	6:00	通行止め解除
	14:30	丸岡IC出口を起点とした本線渋滞発生【滞留②③】		20:00	滞留①区間 車両排出完了			
	22:20	金津IC～福井IC【災対法適用開始】						

《車両滞留の状況》



車列の状況

スタックした大型車

《車両救出の状況》



直轄応援による車両救出

《物資配布・意向確認の状況》



自衛隊による燃料補給

自衛隊による物資配布

一時避難の意向確認



## 一般国道48号における雪崩による通行止め (R4.3.14/仙台市青葉区作並字岳山)



### ◇時系列

日付	時間	内容
3月14日	1:27	一般通行車より警察に連絡、警察より出張所に連絡
	3:00	全面通行止め開始
	6:50	コンサルタント 現地着 点検開始
	7:30	ロングアームバックホウにより斜面上の落雪除去作業開始
		-ロングアームバックホウ 1台 ・バックホウ 1台
		-ホイールローダ 1台 計 3台
	9:30	擁壁上の不安定な雪の概ねの除去完了
		擁壁裏のポケット確保の作業開始
	11:30	国立研究開発法人防災科学技術研究所(2名) 現地到着 現地確認開始
	12:00	現地確認完了
	12:25	除雪完了
	15:00	土のう設置開始
	19:20	土のう設置完了
20:00	全面通行止めから片側交互通行移行	

### 写真①



### 写真②

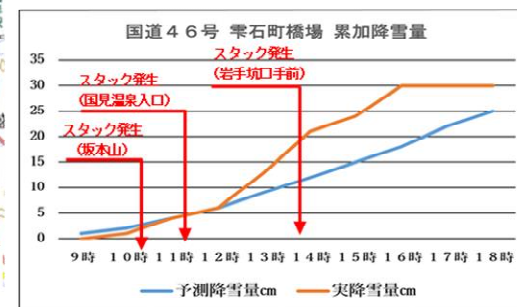
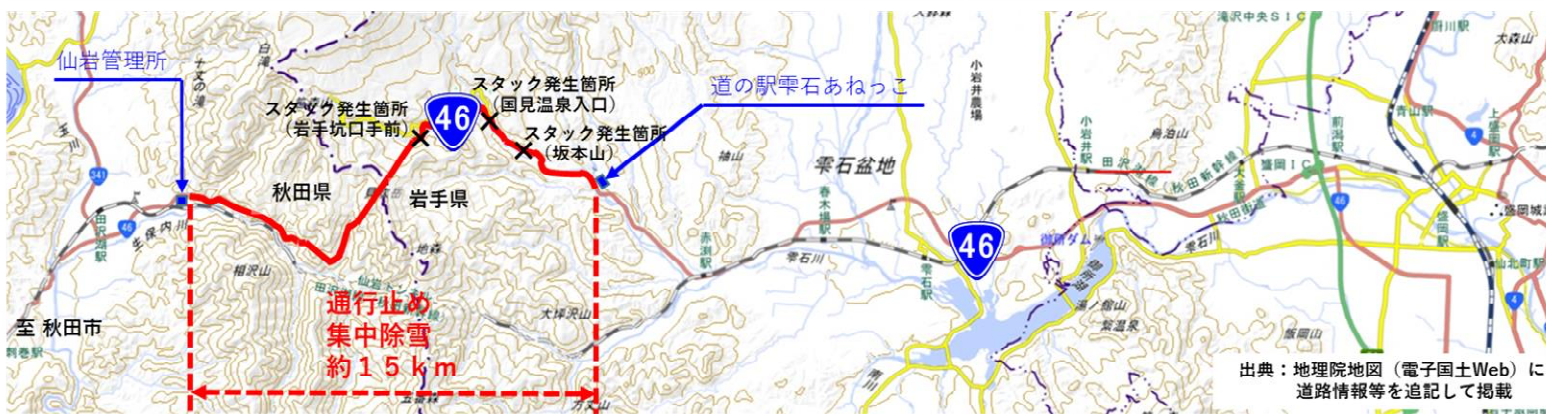
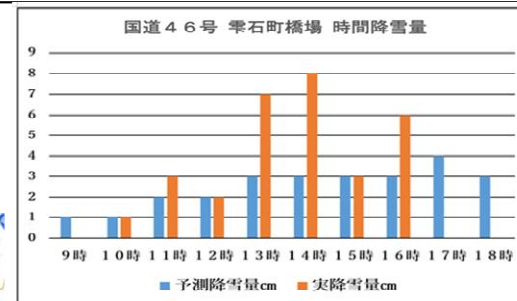




## ②大雪による交通障害事例(国道46号岩手県)

- ◆ 令和5年2月1日、発達した低気圧の影響により、盛岡市を中心に雪氷予測を大きく上回る降雪となった
- ◆ 降り始め直後の降雪量が少ない段階からスタック車両が発生 ⇨ 凍結路面(路温-4.1℃)に降雪し、約5%の縦断勾配が連続した区間で、積荷は「空荷」の車両がスタック
- ◆ その後強い降雪 ⇨ 国道46号橋場の積雪計で12時～14時の2時間で15cmの強い降雪を観測
  - ⇨ 除雪が追いつかない状態 ⇨ トレーラが横向きになるスタック発生
  - ⇨ 通行止め措置で集中除雪を実施

日付	時刻	対応・事象内容	日付	時刻	対応・事象内容
2月1日	10:10	スタック車両発生(坂本山)	2月1日	14:00	仙岩道路【岩手側】通行止め開始(集中除雪開始)
	10:25	自らチェーン装着し脱出完了		14:15	スタックのトレーラを除雪グレーダで牽引排除完了
	11:15	スタック車両発生(国見温泉入口)		14:30	仙岩道路【秋田側】通行止め開始(集中除雪開始)
	12:00	除雪グレーダで牽引排除完了		15:00	情報連絡本部準備会議(Web会議)を開催
	13:45	スタック車両発生(仙岩トンネル岩手坑口手前)		15:51	大雪警報発令(盛岡・花北地域)
13:50	秋田河川国道に仙岩道路通の行止め措置を依頼	19:00	仙岩道路通行止め解除(集中除雪完了)		



①【スタック車両】10時10分頃 坂本山



②【スタック車両】12時頃 国見温泉入口



②【スタック車両】13時40分頃 岩手坑口手前



②【通行止め周知】15時50分頃 道の駅付近



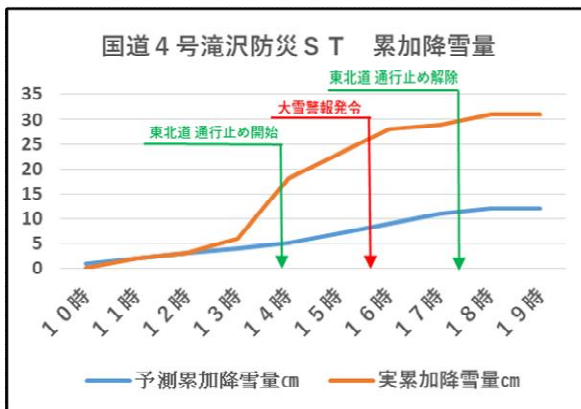
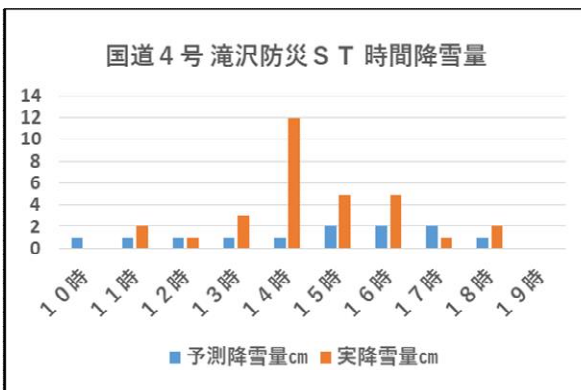
# ③大雪による交通障害事例(国道4号岩手県)

- ◆ 令和5年2月1日、発達した低気圧の影響により、盛岡市を中心に予測を大きく上回る降雪となった
  - ⇒ 国道4号滝沢防災STの積雪計で最大12cmの時間降雪量を観測
- ◆ 東北道が通行止め(滝沢IC～西根IC間)となり国道4号に多くの車両が流入 ⇒ 速度低下や渋滞が発生
- ◆ 渋滞により停止と発進の繰り返しで圧雪路面が悪化
  - ⇒ 断続的にスタック車両が発生 ⇒ 除雪作業も遅延する悪循環 ⇒ 通行止め措置で集中除雪を実施

日付	時刻	対応・事象内容	日付	時刻	対応・事象内容
2月1日	13:00	雪水予測を超える降雪により除雪作業を指示	2月1日	17:50	国道4号 通行止め開始 (集中除雪開始)
	14:00	東北道 滝沢IC～西根IC間 通行止め		2月1日	19:30
	15:00	情報連絡本部準備会議 (Web会議) を開始	19:43		大雪警報解除 (盛岡・花北地域)
	15:40	断続的にスタック車両が発生 (15:40～19:30)			2月2日
	15:51	大雪警報発令 (盛岡・花北地域)			
17:30	東北道 滝沢IC～西根IC間 通行止め解除				



出典：地理院地図 (電子国土Web) に  
道路情報等を追記して掲載



## ○タイムライン(段階的な行動計画)の作成 ⇒ 事務所毎で対応を時系列

大規模な冬期交通障害への対応着目したタイムライン(案)

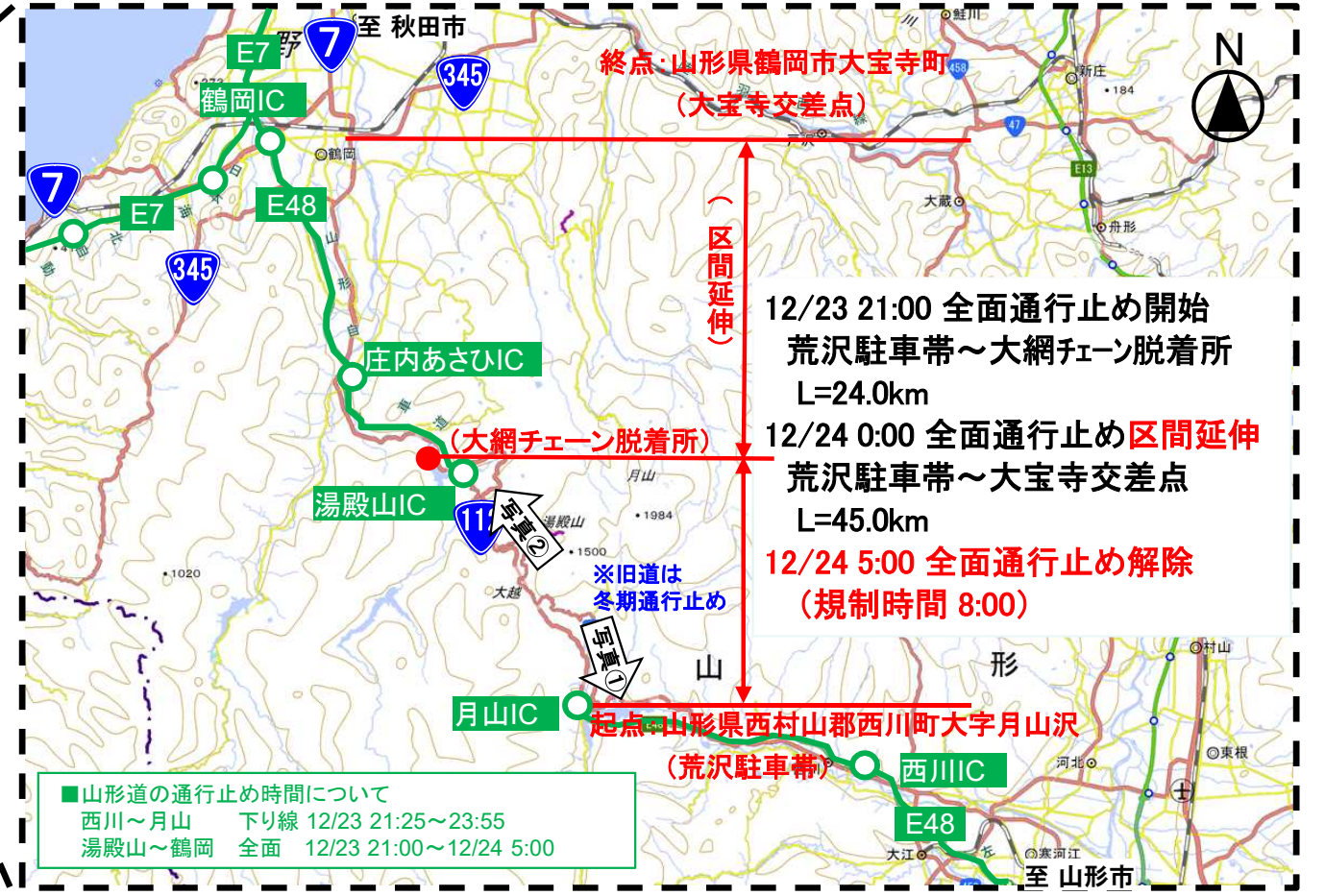
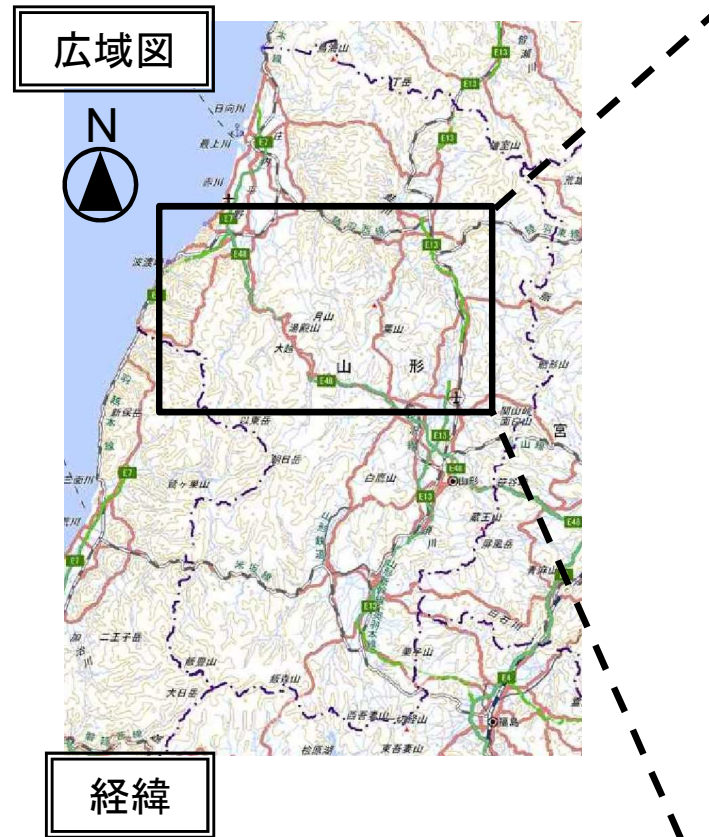
国道事務所

RM.11.25

【想定】 気象情報 並びに 道路状況	進行止め検討・判断の タイミング	除雪体制	岩手河川国道事務所	本局、近隣事務所(三陸、南三陸)	県、市町村、NEXCO、 防災エキスパート	警察、消防	道路利用者
◇気象庁 大雪警戒情報(3日先降雪予測) ○雪水予測 大雪警戒情報(3日前)	情報収集段階 1. 気象庁緊急発表(トリガー) 2. 雪水予測(24時間予測)(メルクマール)	○除雪機械及び資機材の確認・確保 ○除雪作業の体制確認・確保 ○除雪重点区間に機械配置の準備 ○通行規制資材準備(交通整理員含む) ○拡幅除雪(必要に応じて実施)	○除雪機械体制及び資機材の確認指示 ○除雪重点区間に機械配置の準備指示 ○事務所体制の確認 ○拡幅除雪(必要に応じて)指示 ○防災エキスパート派遣準備事前連絡				
◇気象庁 大雪警戒情報第1号 (2日前)	情報収集段階 1. 気象庁緊急発表(トリガー) 2. 雪水予測(24時間予測)(メルクマール)	○拡幅除雪(必要に応じて実施)	記者発表第1報(大雪に関する緊急情報、不要不急の外出控え) ○HPP、ツイッター、情報板による注意喚起 ○広報体制確認(市町村防災無線等)及び関係機関情報提供 ○除雪機械支援(各出張所)の確認 ※気象情報に伴う支部注意体制数値検討(防災課)				○記者発表及びHP、ツイッター、情報板、ラジオによる「大雪に関する情報」「チェーン通行の呼びかけ」「不要・不急の外出控えの呼びかけ」 ○トラック協会、バス協会にメールによる情報提供
◇気象庁 大雪警戒情報第2号 (1日前)	情報収集段階 1. 気象庁緊急発表(トリガー) 2. 雪水予測(12時間予測)(メルクマール)	○除雪業者持ち込み機械の確保・配置 ○重点除雪区間にスタック処理用機械の事前配置	○HPP、ツイッター、情報板による注意喚起 ○関係機関との連絡調整 ○除雪業者持ち込み機械の配置指示 ○重点除雪区間にスタック処理用機械の事前配置指示 ○除雪機械支援事務所への事前派遣依頼 ○事務所職員現地派遣準備事前連絡 ○ホットライン構築 ○広域迂回路の検討・調整 ○道路利用抑制の呼びかけ検討(市町村防災無線等) ○リエゾン派遣準備事前連絡(ネクスコ) ○防災エキスパート派遣準備事前連絡	○豪雪対応体制の準備に入った旨の事前連絡 ○除雪機械の派遣調整 ○広域迂回路の事前調整	○豪雪対応体制の準備に入った旨の事前連絡 ○ホットライン構築 ○広域迂回路の事前調整 ○道路利用抑制呼びかけ調整(防災無線等) ○ネクスコ管理事務所へリエゾン派遣予定の連絡 ○東北地域づくり協会へ防災エキスパート派遣依頼の連絡	○豪雪対応体制の準備に入った旨の事前連絡	
情報連絡本部設置に向けた準備会議の設置(以後、状況に応じ本部設置まで適宜開催)							
◇気象庁 大雪警戒情報第3号 (10時間前)	情報収集段階 1. 気象庁緊急発表(トリガー) 2. 雪水予測(12時間予測)(メルクマール)	○除雪機械をフル稼働出来るオペレーター等の確保・待機 ○事前除雪(気象・路面状況に応じ)	記者発表第2報(進行止め予測、広域迂回路のお願い) ○HPP、ツイッター、情報板による注意喚起 ○関係機関情報提供 ○除雪機械をフル稼働出来るオペレーター等の待機 ○道路情報員による監視体制の強化指示 ○交通規制委員、出張所応援委員等の現地派遣準備 ○リエゾン派遣準備(ネクスコ) ○大規模滞留車両の乗員保護班の現地派遣準備				○記者発表及びHP、ツイッター、情報板、ラジオによる「大雪に関する情報」「チェーン通行の呼びかけ」「不要・不急の外出控えの呼びかけ」 ○トラック協会、バス協会にメールによる情報提供
◇気象庁 大雪注意発表(8時間前)	予防的進行止め検討・判断・準備 1. 大雪注意発表(トリガー) 2. 降雪確認(メルクマール) 3. 路面状況悪化・滞留の恐れ(メルクマール) 4. 事前除雪(気象・路面状況に応じ)	○事前除雪作業(気象・路面状況に応じ) ○道路巡回の強化	○事前除雪作業指示(気象・路面状況に応じ) ○職員・道路情報員による監視体制の強化 ○道路巡回の強化指示				○HPP、ツイッター、情報板による「大雪に関する情報」「チェーン通行の呼びかけ」「不要・不急の外出控えの呼びかけ」
情報連絡本部会議の開催(設置)							



# ①集中除雪に伴う通行止め事例



令和4年12月23日(金)  
 21:00 全面通行止め開始  
 (荒沢駐車帯～大網チェーン脱着所)  
 内容:集中除雪

令和4年12月24日(土)  
 0:00 山形道の規制に伴い  
 全面通行止め区間延伸  
 (荒沢駐車帯～大宝寺交差点)  
 5:00 集中除雪完了、全面通行止め解除





## 一般国道7号における地吹雪・視界不良に伴う車両滞留 (R4.1.4/山形県酒田市広野)

### ◇時系列

日付	時間	内容
1月4日	13:56	大型車と軽自動車の追突事故が発生 CCIVカメラにて地吹雪による視界不良を確認。以降も継続的に視界不良を確認。
	14:00	付近の道路情報板に「ふぶき 視界不良 通行注意」を表示 CCIVカメラにて低速走行を確認。以降も継続的に低速走行を確認。
	17:11	乗用車2台が関係する交通事故が発生。事故車両は、まもなく排除した。
	17:30	大型トラックがスタックしていることを確認 全面通行止めを開始
	19:15	大型トラックがさらに1台スタックしていることを確認
	20:00	大型トラックがさらに1台(計3台)スタックしていることを確認 滞留車両の排出完了
	20:10	除雪トラックにより、スタック車両2台の排除作業完了
	20:35	通行止め区間の集中除雪作業開始
	21:35	グレーダーが現地到着、スタック車両残り1台の排除作業開始
	22:06	グレーダーにより、スタック車両残り1台の排除作業完了 スタック発生区間の集中除雪作業開始
	22:40	集中除雪作業完了、パトロール開始、関係機関と規制解除の調整
	23:00	パトロール終了 全面通行止め解除



①通行止めによる滞留の状況 (1月4日 18:00頃)



②通行止めによる滞留の状況 (1月4日 18:00頃)



③地吹雪の状況 (1月4日 19:14)



④通行止めによる滞留の状況 (1月4日 20:00頃)



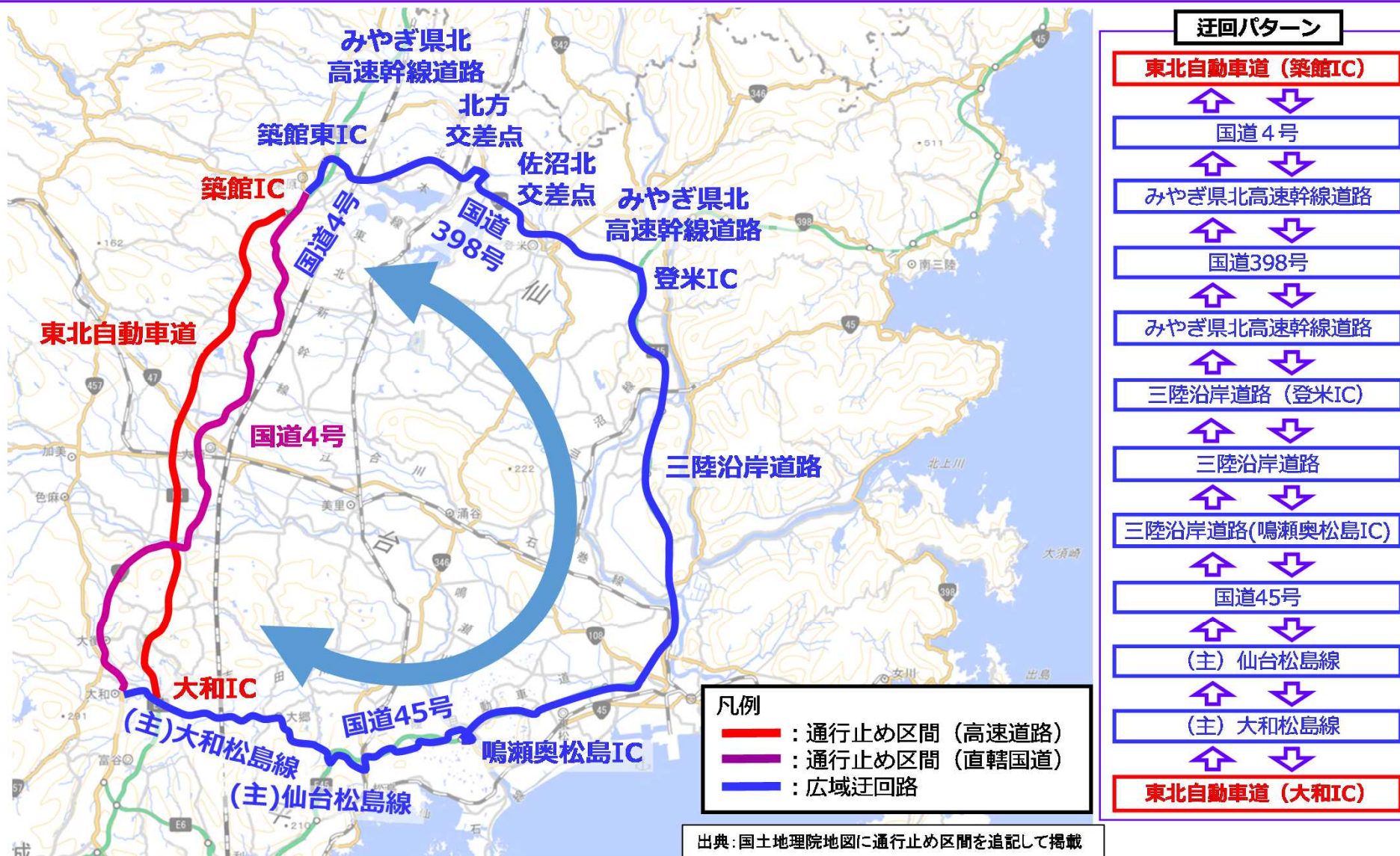
⑤スタック車両の排除作業 (1月4日 20:08頃)

※ ○数字は、位置図の箇所



## ■ 国道4号の通行止めに伴う広域迂回位置図

※東北自動車道(大和IC～築館IC)同時通行止め考慮



出典: 国土地理院地図に通行止め区間を追記して掲載



## <道路情報版を活用し広域迂回を案内>

- 吹雪による東北自動車道の通行止め時に、三陸沿岸道路の交通量は最大約1.6倍に増加(岩手県田野畑地区)
- 大型車は約2,000台が東北自動車道から三陸沿岸道路に転換し、冬期でも信頼性の高い機能を確保

### 三陸沿岸道路へ広域迂回

**【現地状況】**  
盛岡市内の国道4号 (1/12 11時頃) 吹雪が発生中

至 八戸

1.12撮影 至 仙台

宮古中央JCT付近 (1/12 12時頃) 多くの大型車両を確認

至 八戸

1.12撮影 至 仙台

**【広域迂回案内の実施】**

東北道(下)富谷ジャンクション情報板

東北道(上)八戸ジャンクション【簡易LED】

E4北上金ヶ崎⇒E4角八幡平 吹雪通行止

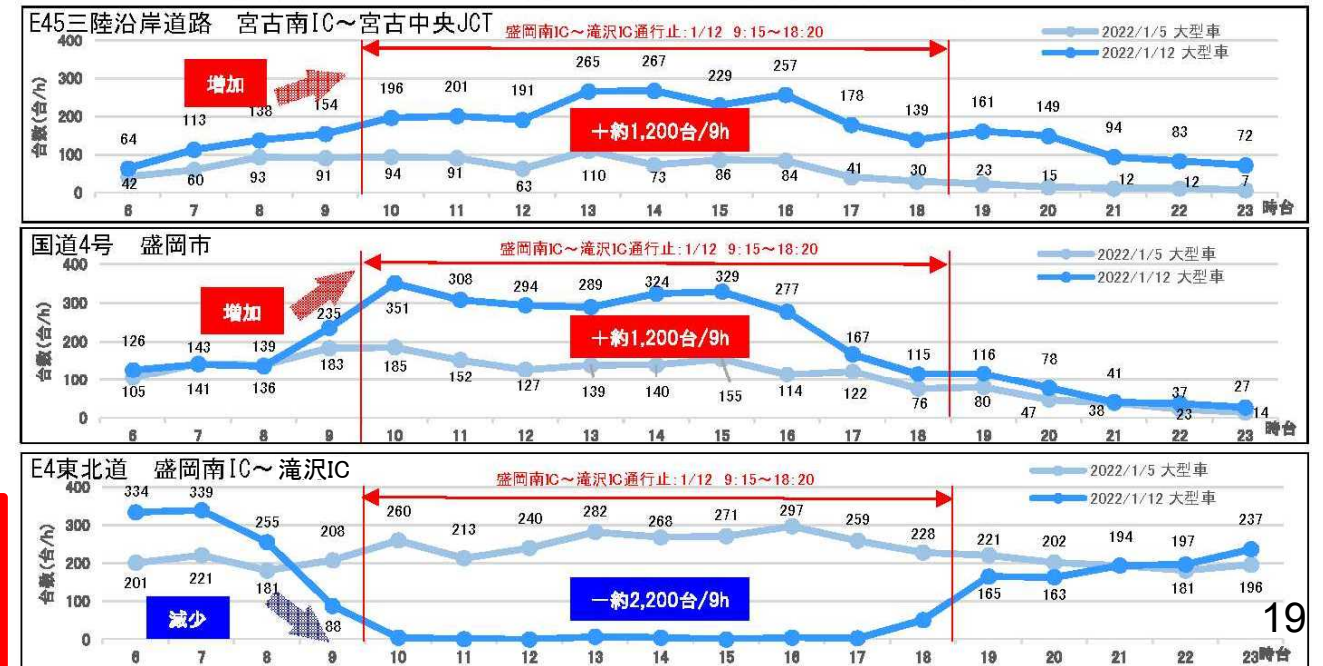
E4東北道吹雪通行止有

仙台方面 E45三陸道もご利用を

### ■三陸沿岸道路の交通量(前週と比較)



### ■並行する道路の断面交通量(大型車)の推移(前週と比較)



※出典: NEXCO東日本トラン計画値(速報値)、国土交通省トラン計画値(速報値)



## ＜チェーン等装着のチラシ配布と工業団地、運送業界へプッシュ型で情報提供＞

### 情報提供した工業団地一覧

## 福島県会津・中通り地方は雪国です！



**今冬もスタック車両による交通障害が発生！**

冬期間の走行では  
**○冬用タイヤの装着○タイヤチェーンの常時携行**が必須です！

大雪時には  
**○運行計画の変更○広域迂回○不要不急の外出自粛**の検討を！

国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所 TEL 024-946-0333



**消り止めの措置を講じない場合 福島県道路交通規則により違反となります。 反則金：大型7千円/普通車6千円/二輪6千円**

交通違反

送達情報は以下のアドレスをご覧ください。

- 会津・会津・会津国道情報 (郡山国道HP) <https://www.furml.go.jp/seriyama/>
- 東北地方整備局 (東北地方整備局HP) <http://saba21.ne.jp/2010/02/20100205/index.html>
- 国道関係情報 (郡山国道HP) <http://saba-road.nu.mhl.go.jp/?yuki/20100205.html>
- 災害・緊急情報 (郡山国道HP) <https://www.furml.go.jp/seriyama/safety/01.html>
- 郡山国道事務所ツイッター [https://twitter.com/seriyama\\_nll](https://twitter.com/seriyama_nll)

郡山国道事務所HPライブカメラ

名称	所在地	企業数	連絡先	事務局
郡山トラックセンター	郡山市節二丁目	17	024-924-2271	同センター
会津若松工業団地	門田町	38	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
一ノ宿工業団地	門田町	48	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
会津若松高久工業団地	神指町	2	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
北会津二業団地	真宮新町	92	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
会津若松河東工業団地	河東町	5	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
会津若松徳久工業団地	門田町	5	0242-39-1255	会津若松市企業立地課
熱塩加納工業団地	熱塩加納町		0241-24-5247	喜多方市商工課
喜多方鉄金工業団地	喜多方市		0241-24-5247	喜多方市商工課
西会津「工業会」 【西会津工業団地含】	西会津町	10	0241-45-2213	会津技研
会津美里町高田工業団地	会津美里町	23	0242-55-1191	会津美里町商工観光
新鶴工業団地	会津美里町	4	0242-55-1191	会津美里町商工観光
本郷北二業団地	会津美里町	5	0242 55 1191	会津美里町商工観光

↓令和4年1月25日「物流ニッポン」紙 記事抜粋

### 情報提供した運送業界一覧

団体名	所在地
公益社団法人 福島県トラック協会 県中支部	郡山市喜久田町節3丁目5
公益社団法人 福島県トラック協会 県南支部	西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針15-1
公益社団法人 福島県トラック協会 会津支部	会津若松市町北町大字始字見島80-2
郡山トラックセンター事業協同組合	郡山市喜久田町節3丁目6番地
白河貨物自動車運送事業協同組合	白河市萱根西ノ内53番地1
会津若松トラックセンター協同組合	会津若松市インター西20番地





国土交通省 東北地方整備局 道路部

「東北の道路」の総合情報サイト

TOPページ 情報集HPへ 関連リンク集 サイトマップ

道路交通情報 施策の紹介 事業の紹介 道路IRサイト 総合学習のコーナー

## 雪みち情報リンク集

ご覧になりたい情報をクリックしてください。該当ページへリンクします。  
冬みちでの安心・安全なドライブのため、是非ご利用ください。

**東北全域 Tohoku**

- 東北地方 降雪・路面情報
- 冬期閉鎖路線情報
- 高速道路雪道情報
- 冬の道路情報 (全国版)

**青森 Aomori**

- 青森みち情報

**秋田 Akita**

- 青森県の通行規制情報

**岩手 Iwate**

- 矢立 NAVI (国道7号・矢立峠)
- 秋田県の通行規制情報

**山形 Yamagata**

- 国道4号・46号リアルタイム情報
- 岩手県道路情報提供サービス

**山形 Yamagata**

- 道路画像情報 (内陸)
- 道路画像情報 (庄内)
- 山形県雪情報システム
- 山形県の道路規制情報

**宮城 Miyagi**

- リアルタイム情報提供
- 宮城県道の道路情報

**北陸地方 Hokuriku**

- 新潟 LIVEカメラ
- ふるさとだより

**福島 Fukushima**

- ライブふくしま (道路情報板・気象・規制・画像)
- 郡山・白河・会津みち情報
- KURINAVI (国道13号粟子峠)
- 道路画像情報 (国道49号長尺峠)
- 福島県の道路情報

◆ 関連情報

**冬期閉鎖路線情報** 冬期閉鎖路線情報  
東北各県が提供している冬期閉鎖を行う路線に関するリンク集です。安全・快適な冬みち走行のため、ドライブ前は事前にチェックし、ドライブ・プランにお役立てください。

**東北の道路情報がケータイでも見れます** 東北みち情報  
東北各県の道路情報を携帯電話でチェック！路面状況を画像で確認できたり、地点別の降雪状況など雪みちで役立つ情報のほか、様々な情報を提供しております。(各事務所が提供している携帯サイトはこちら)

QRコード読み取り機能搭載の端末をお持ちの方は、左のマークを撮影すると東北みち情報のケータイサイトのURLが読み取れます。  
※「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

このページのTOP

## 東北地方 降雪・路面情報

東北地方の路面情報・降雪情報をお知らせします

サンプル画像にカーソルを合わせると、地図の場所がわかります。  
カーソルを他の路線・画面へ移動できます。

**1 路面情報**

米の粉の滝ドライブイン前 (鶴岡市) 75.54kp

朝日トンネル合流山形制 (鶴岡市) 73.18kp

中台降雪ステーション (鶴岡市) 68.82kp

七つ瀬 (鶴岡市) 65.61kp

**2 気象情報** 地図エリアにおける最新の降雪情報をお知らせします。

国道112号

観測時刻	気象観測局	気温 [°C]	路面温度 [°C]	降雪状況			風向	風速 [m/s]	情報提供事務所
				積雪深 [cm]	時間降雪量	備考			
12/04 17:00	鶴岡市 (月山国道維持出張所)	1.9	-	-	-	-	北西	4.5	
12/04 17:00	鶴岡市 (上名川除雪ステーション)	1.4	0	0	0	路外	西北西	1.9	
12/04 12:04	鶴岡市	-	-	-	-	-	-	-	

注：( )は観測装置が未設定の場合、( )は観測装置が調整中の場合を示します。

国土交通省 東北地方整備局

879件のツイート

国土交通省 東北地方整備局 @mlit\_tohoku · 11月30日  
～12月1日から2日にかけての大雪について～

お車を運転する場合は、必ず冬タイヤの装着とチェーンの携行をお願いします。  
降雪状況により通行止めによる集中除雪を実施する場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどご協力願います。

thr.mlit.go.jp/Bumon/kisyu/ki...

12月1日から2日にかけての大雪について  
12月1日から2日にかけての大雪について、国土交通省東北地方整備局が提供する大雪に関する情報を掲載しています。

1月1日から2日にかけての大雪について【東北地方】  
1月1日から2日にかけての大雪について、国土交通省東北地方整備局が提供する大雪に関する情報を掲載しています。

国土交通省 東北地方整備局

879件のツイート

国土交通省 東北地方整備局 @mlit\_tohoku · 12月2日  
～12月1日から2日にかけての大雪について～

お車を運転する場合は、必ず冬タイヤの装着とチェーンの携行をお願いします。  
降雪状況により通行止めによる集中除雪を実施する場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどご協力願います。

thr.mlit.go.jp/Bumon/kisyu/ki...

12月2日9:20頃の国道112号 (月山)道路の道路状況です。  
現在も雪が降っており、路面は凍結・圧雪状態となっております。  
速度を控え、安全運転でご走行願います。

12月2日9:20頃の国道112号 (月山)道路の道路状況です。  
現在も雪が降っており、路面は凍結・圧雪状態となっております。  
速度を控え、安全運転でご走行願います。

- 都道府県等の関係機関と連携し、雪害時における乗員保護支援に関する計画を策定
- 運輸局等と連携し、乗員の移動・宿泊施設の確保など支援体制を構築

## 【雪害時の乗員保護支援計画】

○連携した乗員保護活動を実現するために計画を策定

表 乗員保護支援計画の構成例

項目	主な内容
目的	・関係機関が連携し、車両の乗員保護支援を行う
活動体制	・県、整備局、運輸局、道路管理者が連携し、円滑・迅速に乗員保護支援を行う
対策本部	・本部の設置基準・期間、設置場所、構成員と役割分担を定める
行動計画	・整備局、運輸局、県等の行動計画を定める
現地要員の確保	・地方整備局、高速道路会社、協力会社（建設業協会、測量業協会、地質業協会等との災害協定）から要員を確保
資材・装備・備蓄	・保護に必要な物資、運搬に必要な機材等は道路管理者備蓄を活用 ・道路管理者は降雪期前に備蓄状況を対策本部構成員に共有
訓練	・構成員は連携して訓練を実施

○乗員保護に必要な資機材の配備



支援物資の備蓄



照明・給電車

## 支援物資等の確保

- R4.12.1 東北地方整備局は、イオン(株)から災害時に物資の支援を受ける、災害時の拠点としてイオンの施設を利用できる協定を締結

国土交通省 東北地方整備局  Press Release  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちとくらしを守る  
贈 災 備 災

令和 4年 12月 1日  
東北地方整備局

イオン株式会社と「災害対応に関する協定」を締結  
～大規模地震や雪害等の災害対応力の充実・強化へ～

国土交通省東北地方整備局は、今後の発生が予想される「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」などの大規模地震や雪害等の災害に備え、本日、イオン株式会社と「災害対応に関する協定」を締結しました。  
東北地方整備局管内の各地域に大型スーパー等をグループ展開する企業と災害時に相互協力する体制を構築することで、より一層の迅速かつ効果的な災害対応を行うことが期待されます。

▲協定締結記者発表

### 【協定概要】

■本協定で、相互協力を行う主な内容

- 災害に関する情報の共有
- 災害対応時に必要な活動地域等の活用
- 災害対応時に必要な食料・資機材等の確保
- 災害対応の向上のための講習会・研修等の講師の派遣
- 防災訓練への参加・協力

■本協定での相互協力イメージ



○運輸局等と連携し、乗員の支援体制を構築



移動用バス



宿泊施設



- 立ち往生が発生した際に、車両の滞留解消を図るため、除雪車による立ち往生車両の牽引訓練を実施。
- 中央分離帯の開口部から車両を反対車線へ誘導し車両の滞留解消を図るため、開口部の開放訓練を実施。

## 【訓練内容】

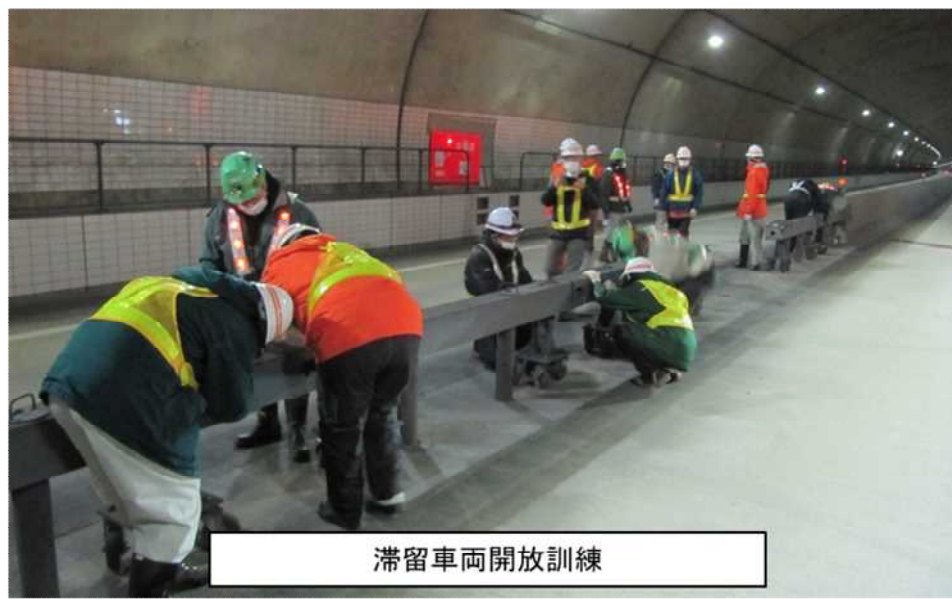
- ◆災害対策基本法に基づく車両移動手順確認訓練  
車両の移動に関する手続き・手順を確認する  
参加：南三陸沿岸国道事務所職員  
道路維持業者
- ◆立ち往生車両牽引訓練  
除雪車と立ち往生車両に牽引ロープを接続し、牽引する  
参加：南三陸沿岸国道事務所職員  
道路維持業者
- ◆滞留車両開放訓練  
自専道の中央分離帯開口部の防護柵を取り外し移動する  
参加：南三陸沿岸国道事務所職員  
道路維持業者



災害対策基本法に基づく車両移動手順確認訓練



立ち往生車両牽引訓練



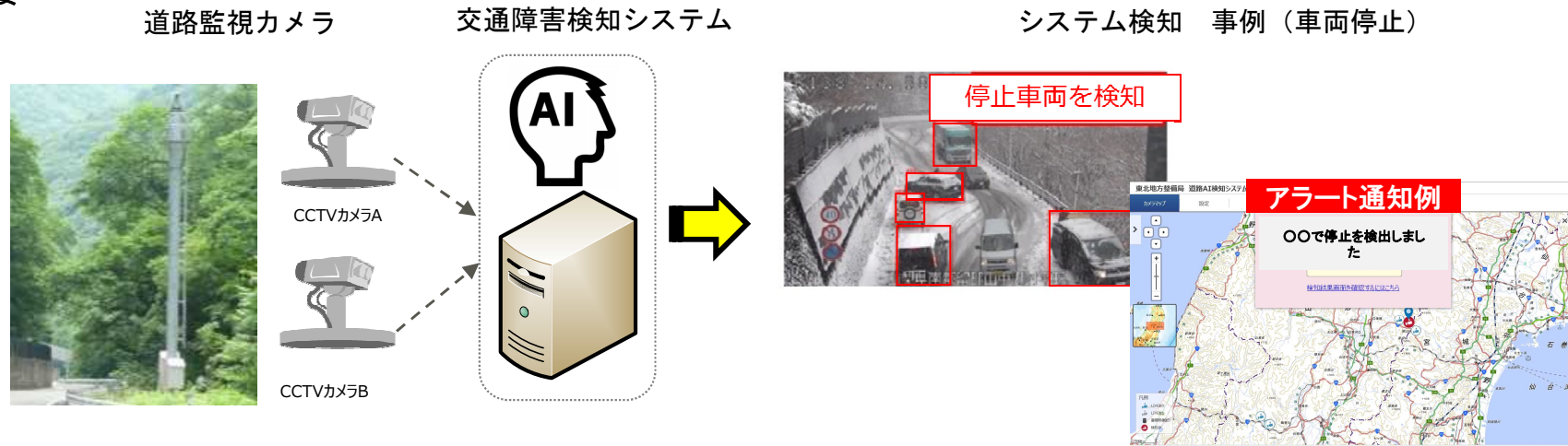
滞留車両開放訓練



**目指す姿**

- ・東北地方整備局の管内では、大雪等による大規模な車両滞留し交通障害が発生している。
- また、自動車専用道路では、車両の逆走、停止、低速、避走など大規模な事故に発展する事象も発生している。
- ⇒ 降雪時の車両滞留及び立ち往生車両または、自動車専用道路における逆走、停止、低速、避走などの早期発見により、大規模な車両滞留、事故、災害等を未然に防ぐ支援として CCTVを活用したAI検知システムを導入。

**概要**



取組み内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
AI検知システム導入	AI検知システムの導入(センター監視20台、事務所監視257台導入済み)		AI検知システムの導入		
道路管理の高度化・迅速化	データの蓄積	データの蓄積・解析・閾値の再設定	データの蓄積・解析・閾値の再設定・精度向上		
	立ち往生車両等の早期発見による大規模な車両滞留及び事故の減少				

◆ 令和4年度の実施状況

● 導入済のAI検知データ蓄積・解析・検証・閾値の再設定。

◇ 令和5年度の実施方針(案)

○ 導入済のAI検知データ蓄積・解析・検証・閾値の再設定・精度向上

注) 取組み内容は現時点の計画であり、現場実証等の進捗状況により変更が生じる場合があります。

○ウェアラブルカメラの機器を活用し、現地パトロール職員から路面や雪質などの状況映像をリアルタイムで共有し、判断・指示の精度を向上



■スタック対応状況の把握 R4/2/21米沢国道



■交通事故の状況把握 R4/1/12新庄国道

○スタック車両が発生した場合に迅速な対応ができるよう、大規模な車両滞留の原因となる場合が多い大型車を対象に、除雪作業の支障となる車両を早急に移動させるための『緊急脱出用具』を令和4年度冬から現場に試行導入

## 【実施：緊急脱出用具配備の取組み(R4～)】

これまでのチェーン等の装着の徹底等の取組みに加え、除雪作業の支障となるスタック車両を早急に移動させる手段として、緊急脱出用具を直轄の現場に試行導入

※ 条件等を満たす用具を募集・選定し、調達可能なものを現場配備



ワンタッチチェーン



結束バンドタイプ



布製タイプ

緊急脱出用具（イメージ）





凍結抑制剤自動散布装置の設置



凍結抑制舗装の試行



チェーン着脱場の融雪設備整備



ホワイトアウト発生時の視線誘導ペイント

# 高速道路における降雪・積雪等の 災害事例とその対応について

令和5年12月15日

東日本高速道路株式会社

東北支社





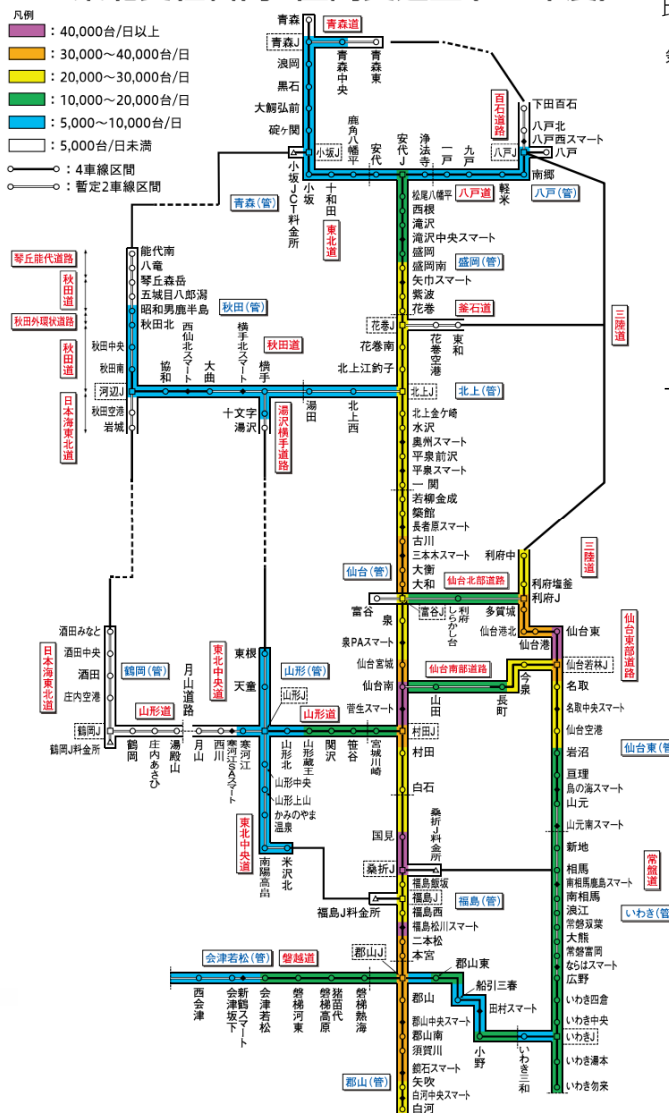
# 東北支社の高速道路の特徴

## ■ 事業データ (令和5年7月時点)

営業延長		
1396.1km	高速自動車国道	1281.1km
	一般有料道路	115.0km
社員		
713人	連結社員数	4,139人
インターチェンジ		
137箇所		
スマートIC		
23箇所		
休憩施設		
122箇所		
SA(サービスエリア)		
32箇所	商業施設有	30施設
	商業施設無	2施設
PA(パーキングエリア)		
90箇所	商業施設有	29施設
	商業施設無	61施設

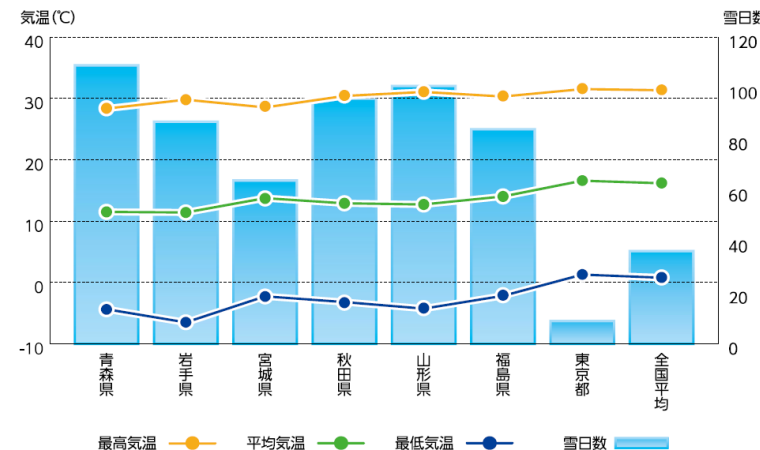
## ■ 営業範囲及び交通量

### 東北支社管内 区間交通量(R4年度)



## ■ 東北地区の気候

東北地方は、各県とも最低気温が氷点下を記録するなど寒冷な地域で、降雪日数も全国平均と比べ2倍以上と非常に多く、約7割の市町村が豪雪地帯・特別豪雪地帯に指定されています。



出典:統計でみる都道府県のすがた2023、気象庁データより算出

# 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換 (大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ概要 R3.2追記)



## 大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ 概要 令和3年2月追記

### I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、**短期間の集中的な大雪**が局所的に発生
  - ※：大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、**幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ**
- 短期間の集中的な大雪時に、通常時と比べて自動車の利用台数に変化が見られたケースも存在**
  - ⇒ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも変化の兆し(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

### II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

- #### 1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留
- 短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
  - 高速道路と、並行する国道等を交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果、大規模な車両滞留につながったケースもあった

#### 2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
- 予防的通行規制**区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能
- ⇒ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

### III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方	今後の考え方
短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」や「 <b>高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし、道路ネットワークを確保すること</b> 」を目標として対応	「 <b>人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること</b> 」を基本的な考え方として対応

### IV 大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化

- #### 1. 道路管理者等の取り組み
- ##### (1) ソフト的対応
- タイムライン(段階的な行動計画)の作成**
    - ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施・合同訓練実施
    - ・気象予測精度向上
  - 除雪体制の強化**
    - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
  - 除雪作業を担う地域建設業の確保**
    - ・契約方法の改善・予定価格の適正な設定等
  - 除雪作業への協力体制の構築**
    - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
  - チェーン等の装着の徹底**
    - ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施
  - 短期間の集中的な大雪時の行動変容**
    - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
    - ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化
  - 短期間の集中的な大雪時の計画的・集中除雪の実施**
    - ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避
    - ・リスク箇所の事前把握と監視強化
  - 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応**
    - ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
    - ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール、トリガーをタイムラインに位置づけ
    - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
    - ・地方整備局等が主体となった乗員保護
- ##### (2) ハード的対応
- 基幹的な道路ネットワークの強化**
    - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、大雪の観点からもネットワークを強化
  - スポット対策、車両待機スペースの確保**
    - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
    - ・中央分離帯開口部やUターン路の整備 等
- #### 2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み
- 短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)**
    - ・通行止めの必要性やジャストインタイムの限界への理解の促進
  - 冬道を走行する際の準備**
    - ・チェーン等の装備の備え
- #### 3. より効率的・効果的な対策に向けて
- 関係機関の連携の強化
  - 情報収集・提供の工夫
  - 新技術の積極的な活用

## 国方針の大規模な転換

**「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応**

**R5雪氷期も方針継続実施**





## ■ 1. 冬期交通確保に関する基本方針 (R3より継続)

- ・降雪予測に基づく「計画的通行止め」は実施しない
  - ⇒ 予測精度 (降雪時間・降雪量) から空振りリスクの影響大
- ・大規模な車両滞留を防ぐため「予防的通行止め (開始の3h前)」を躊躇せず実施
  - ⇒ 立ち往生車両が発生する前に「予防的通行止め」を行い集中除雪を実施
  - ⇒ 気象予測 (降雪量・降雪強度) と除雪能力から予防的通行止めの実施可能性を判断
  - ⇒ 並行国道管理者等と事前に情報共有し連携を図る
- ・必要となれば並行国道との同時通行止めも躊躇なく実施
  - ⇒ 立ち往生車両や渋滞が発生した場合は、躊躇せず「予防的通行止め」を実施
  - ⇒ 通行止め実施にあたっては、早期に物理的閉鎖を行う

## ■ 2. 滞留車発生時の対応 (R3より継続)

- ・人命最優先を基本に乗員保護を第一に考える
  - ⇒ 時間の経過とともに命に係わる可能性があることを十分認識し対応にあたる
- ・あらゆる手段を用いて滞留車両の情報収集を正確かつ速やかに行う
  - ⇒ 巡回班・ビークル隊、ドローン、監視カメラ、ウェアラブルカメラ等により滞留状況を把握
  - ⇒ 滞留発生箇所では、常時監視体制を構築

# 冬期の道路交通確保の取り組み①

- 人命を最優先に、幹線道路上での大規模な車両滞留を徹底的に回避  
「大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ」(冬期道路交通確保対策検討委員会:国)
- 大雪が予想される際には、大雪時のタイムライン(段階的な行動計画:以下)に基づき、各種取り組みを実施

《大雪時のタイムライン(概略)》

段階	国・自治体・警察 ・気象台など	NEXCO東日本	高速道路利用者への呼びかけ					
			記者発表	HP	X LINE	高速道路 影響情報 サイト	テレビCM ラジオCM YouTube	道路情報板
1週間前	気象情報の共有など	通常の雪氷体制			冬装備 安全運転		冬装備 安全運転	冬装備 安全運転
<b>3日前</b>	<b>情報連絡本部での連携</b>	<b>体制強化</b> ・応援派遣 ・協力要請 (災害協定事業者など)	<b>大雪が予想される地域と時期</b> 注意喚起・出控え <b>予想される通行止め区間</b>				出控え (切替)	冬装備 安全運転
1日前	<b>大雪に関する緊急発表</b>		<b>通行止め可能性区間と時間帯</b> ※概ね6時間毎に見直し					注意喚起
降雪中	・情報の一元的収集・共有 ・関係機関での各種調整・協議 ・道路利用者や地域住民への 情報提供	<b>立ち往生車・滞留発生前に 予防的通行止め 集中除雪</b>	<b>【通行止めの場合】</b> ・通行止め区間 ・作業状況・解除見込など					冬タイヤ装着 /チェーン携行 規制情報 (通行止め等)



# 冬期の道路交通確保の取り組み②

## 【参考】情報提供ツールの紹介

No.	情報提供	URL等
①	公式WEBサイト	<a href="https://www.e-nexco.co.jp/">https://www.e-nexco.co.jp/</a>
②	高速道路影響情報サイト	<a href="https://ex-ssw.com/">https://ex-ssw.com/</a>
③	LINE公式アカウント	【検索】 NEXCO東日本 【ID】 @e-nexco
④	公式X (旧Twitter) NEXCO東日本 (道路防災情報) NEXCO東日本 (北海道) NEXCO東日本 (東北) NEXCO東日本 (関東) NEXCO東日本 (新潟)	<a href="https://twitter.com/e_nexco_bousai">https://twitter.com/e_nexco_bousai</a> <a href="https://twitter.com/e_nexco_kita">https://twitter.com/e_nexco_kita</a> <a href="https://twitter.com/e_nexco_tohoku">https://twitter.com/e_nexco_tohoku</a> <a href="https://twitter.com/e_nexco_kanto">https://twitter.com/e_nexco_kanto</a> <a href="https://twitter.com/e_nexco_niigata">https://twitter.com/e_nexco_niigata</a>
⑤	ドライブトラフィック (ドラとら)	<a href="https://www.drivetraffic.jp/">https://www.drivetraffic.jp/</a>

✓ 高速道路各社の情報を集約



② 高速道路影響情報サイト

✓ ユーザーに直接届く細やかな情報提供



③ LINE公式アカウント ④ 公式X (旧Twitter)

✓ 大雪の概ね3日前から呼びかけを強化



(通行止め予測区間マップ)

✓ 幅広い呼びかけ・社会的理解の向上



テレビCM・ラジオCM・Web広告

✓ リアルタイムの情報提供 (ライブカメラ・気象/路面予測)



⑤ ドライブトラフィック (ドラとら)

# 冬期の道路交通確保の取り組み～広報



■X(旧Twitter)、LINEにおいて、前シーズンに引き続き、現地状況の画像や動画を投稿することにより、わかりやすくインパクトのある情報提供を実施。

## ポスト事例

パトロール画像や動画を用いて視覚的に情報提供

NEXCO東日本(東北)  
@e\_nexco\_tohoku

【路面情報】11/25 7:00 現在  
東北地方の高速道路では積雪となっている区間があります。  
走行には冬タイヤの装着が必要です。  
十分な車間距離をとって安全な速度で走行しましょう。



7:01 · 2023/11/25 場所: Earth · 35万回表示

1460件のリポスト 143件の引用 3009件のいいね 51件のブックマーク

東日本

NEXCO東日本(東北)  
@e\_nexco\_tohoku

【通行止情報】12/19 11:30現在  
記録的な大雪の影響で、E49磐越道では通行止めの区間があります。  
大量の雪で除雪に時間がかかっており、通行止め解除にはしばらく時間がかかる見込みです。  
お客さまには大変ご迷惑をおかけします。

↓磐越道 西会津IC～津川IC間



午前11:30 · 2022年12月19日

ツイートアナリティクスを表示

9.3万 件の表示 285 件のリツイート 25 件の引用ツイート 509 件のいいね

## LINE事例

< 99+ NEXCO東日本

8:50

【路面情報】  
東北地方では降雪となっている区間があります。  
これから明日にかけて降雪が強まる予報となっております。

最新の気象予報・道路交通情報をご確認いただくとともに、冬用タイヤの装着およびタイヤチェーンを携行してください。

最新の交通情報はこちら  
<https://www.drivetraffic.jp/>  
配信元：NEXCO東日本 東北支社

「ドラとら」ドライブト...  
高速道路料金や交通状況は  
もちろん



10:40



# 【参考】冬期の道路交通確保の取り組み～広報

提供内容: 通行止め情報、大雪による出控え広報 等  
 提供期間: 令和5年11月中旬～令和6年4月30日(予定)

## 高速道路の冬道情報をLINEで配信します



友達登録は二次元コードを読み取るかID検索で@e-nexcoを入力して下さい。

あなたに、ベストウェイ。 NEXCO 東日本

NEXCO東日本 今日

NEXCO東日本は **冬道情報** を **LINE** で **配信** しています。


友だち登録は以下の二次元コードを読み取るかID検索で@e-nexcoを入力してください。



他にもこんな機能があります!

- まずは! **よく使う道路と夜間配信の設定**  
よく使う高速道路の登録を行えば、登録した道路の情報のみを受け取ることができます。また、夜間(22:00～7:00)の配信を受け取らないよう設定することも可能です、これらの登録、設定はいつでも変更することができます。
- ドラとら** (ドライブポイントウェイ)  
全国の高速道路「ドラとら」でリアルタイムを確認
- 各地域の天気**  
東北日本エリア(東北地方)の各地域のNEXCOリンクします。Twitterでは高速道路に関する情報他、サービスエリアなどの情報も発信しています。
- 冬道ドライブの注意点**  
冬道ドライブの前にチェックしていただきたいポイントも掲載しています。また、冬道でなぜスタックが発生するのかについて動画で解説します。
- 各地域のTw**

東北の高速道...EXCO東日本



【迂回路情報】(14:00 現在)  
E46 秋田道 北上西IC～湯田ICは、現在吹雪のため通行止となっております。並行する国道107号は災害通行止めとなっているため、広域的な迂回が必要です。上図を参照して下さい。

【通行止め解除予定】(15:25 現在)  
E46 秋田道 北上西IC～湯田ICの通行止めは、13時30分に解除の予定です。引き続き安全運転をお願いします。

よく使う高速道路の登録

東北各地の天気予報

高速道路気象予測(動画解説)

高速道路LIVEカメラ

冬の高速道路ガイド

NEXCO東日本東北支社Twitter

# 【参考】冬期の道路交通確保の取り組み～支援物資等

NEXCO

- 滞留車への支援物資として、パッケージ品を準備  
(保存食料・水・簡易トイレ・防寒アルミシート・ティッシュ)
- 必要に応じて炊出しの実施



## 配布物資キット

- ・保存食料・水のパッケージ(170set)
- ・保存食料・水・簡易トイレ・防寒アルミシート・ティッシュ(500set)



# 【参考】東北地方の高速道路（冬期 要注意箇所）



- ホームページ上にて「冬の高速道路安全チェックポイントマップ」を公開
- 冬用タイヤの装着に加えて、タイヤチェーンの携行を呼びかけ

- ・ HP上で冬季の運転に関する注意点をお知らせ  
URL: <https://www.driveplaza.com/special/manmoshi>
- ・ 吹雪や凍結などの要注意箇所を示したマップを公開

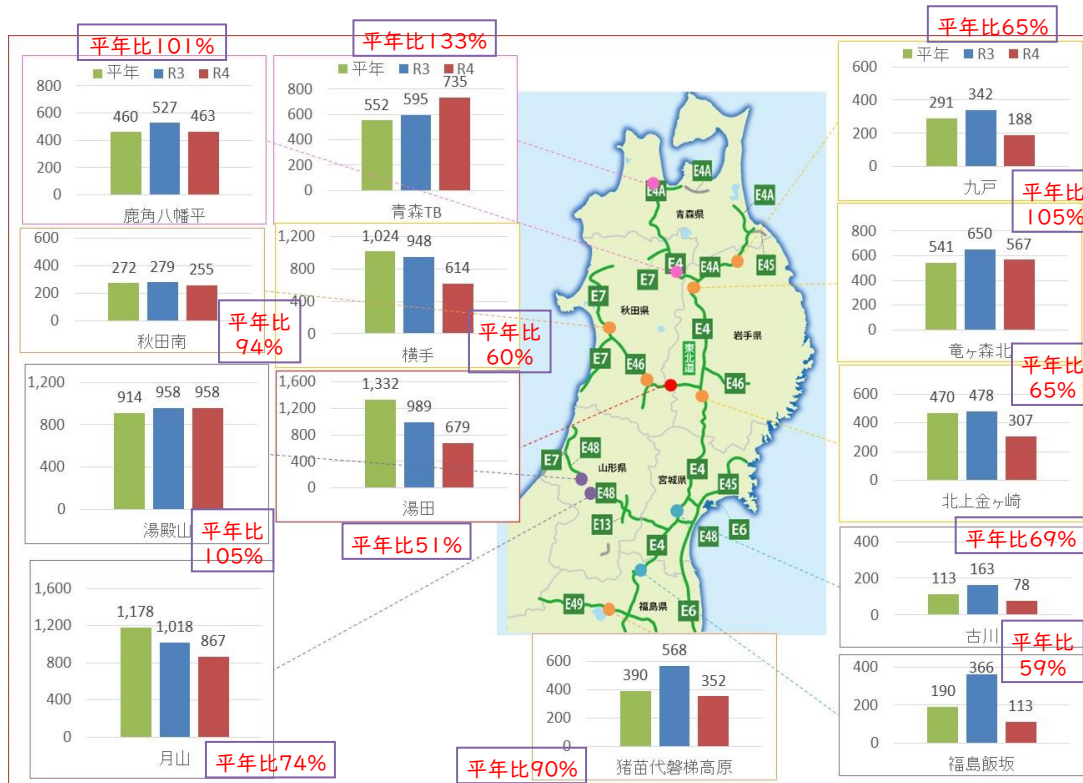
過去の大雪では冬用タイヤを履いていても大型車が立往生する事態が発生しています。万が一の事態に備えて、必ずタイヤチェーンの携行をお願いします。



# 令和4年度 雪氷対策状況(振り返り)

- 観測地点別の累計降雪量は、青森TB以外で昨シーズンより少ない傾向
- 予防的通行止めの運用はなかった
- 通行止め量:平年比31% (7500km・h弱、昨年比20%) 作業延長:平年の1.1倍 (102万km、昨年比90%)

## 東北支社管内の降雪状況



### 滞留等初動対応の向上

- ✓ 現場確認、滞留車排除
- ✓ 炊き出し・物資配布班準備
- ✓ トイレカー設置

12/18 磐越道(会津若松管内)スタック車:2時間弱で解消



1/25 東北道(安代~鹿角八幡平)事故滞留車:5時間強で解消



2/10 東北道(白河)南岸低気圧による滞留:3時間弱で解消





# 【参考事例】東北自動車道 古川～築館間141台多重事故

- 発生日時 令和3(2021)年1月19日(火) 11:45頃発生
- 発生場所 東北自動車道 下り 377.6kp(古川～築館) 宮城県大崎市古川大字小林字新一本杉150
- 気象状況等 【路面状況】湿潤 【天候】地吹雪 【気温】-3.2度

【視程】160m [11:44~45] 【風速】9.7m/s [11:56] [江合川観測所(古川IC付近下375.8kp)]

(事故発生8時間前に積雪深3cmに及び降雪あり ※その後氷点下継続)

- ✓ 強い冬型の気圧配置で東北支社管内では、上空1500m付近には-12℃以下の強い寒気が南下していた。このため、東北支社の広範囲で雪となっていた。加えて、仙台管理では東北道の三本木PA以北で最大平均風速10m/s以上の強い風が吹いていた。舞いやすい雪質でもあったため、降雪ピークを過ぎた翌日昼に仙台管理の東北道の北部の区間は吹雪が発生。
- ✓ 気象庁 大崎市古川 1月19日正午頃 最大瞬間風速27.8m、気温-3.6度

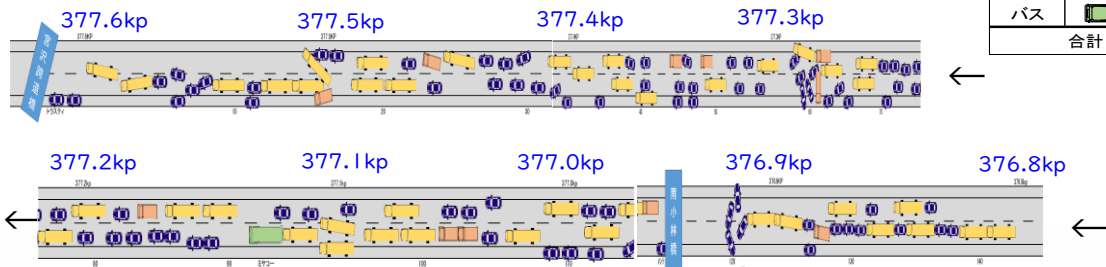
○事故概要 地吹雪による視界不良が生じていたことから時速50kmを上限とする速度規制を実施していた中で発生

○関係車両 141台(普乗他86台、大貨43台、普貨11台、バス1台)

【内訳】事故台数:61台 滞留車:80台 (高速隊聞き取り)

○死傷者 死亡1名、重傷7名、軽傷23名 (高速隊聞き取り)

←青森方面



仙台方面→







## 吹雪・降雪等の冬季視程障害時(夜間)において、安全な走行を支援するために、道路の幅やカーブが分かるようにライトを設置

路肩外側線位置を緑色ライトで表示した帯状ガイドライトを設置し、安全走行を支援  
(視線誘導灯の点灯により路面積雪時でも走行軌跡が安定)



古川地区の地吹雪多発地帯において自発光式視線誘導灯(デリニエーター)を路肩側に設置(中分側には設置済み)  
(5.6km区間、約110基追加)



※エンジ東北による技術開発品

# 雪氷対策状況～広域迂回案内

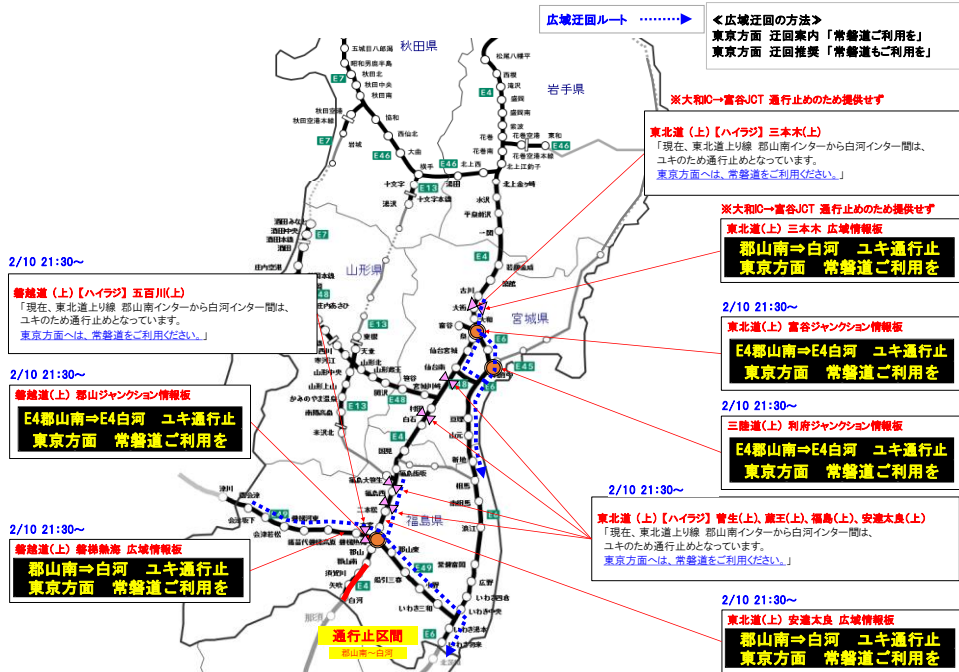


- 吹雪等による通行止め時には「広域迂回案内」を実施
- これにより高速道路利用者の交通路確保及び並行国道の交通障害抑制を実施

冬期前に広域迂回計画を策定し、情報板の介入制御等を準備済(情報板、ハイラジ、簡易LED板)

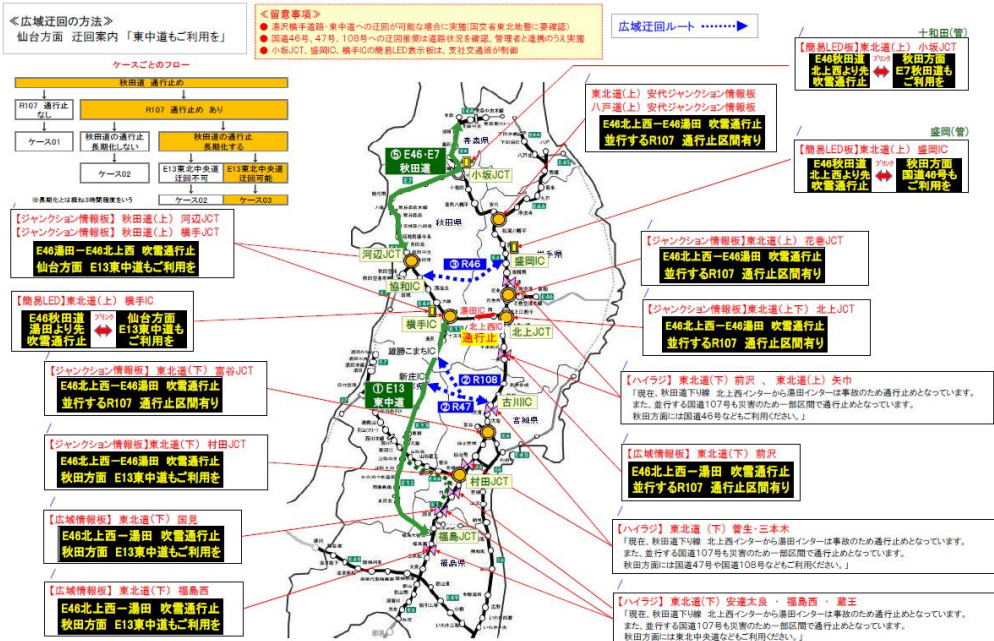
## 【R5.2.10】E4東北道 郡山南-白河 ユキ通行止めに伴う広域迂回例

- 東北自動車道および並行する国道4号の同時通行止に伴い、通行止め開始後に調整を行い広域迂回を実施
- 広域迂回路として関係機関と調整のうえ、経路を設定
- 情報板、ハイラジ、X(旧Twitter)、LINEなどの情報提供ツールをフル活用して広く案内(関係機関もX(旧Twitter)等)



## 国道107号大石地区通行止めに伴う広域道路情報

- 秋田自動車道及び、並行する国道107号(災害復旧事業推進中)の同時通行止めに伴い、通行止め開始後に調整を行い広域迂回を実施

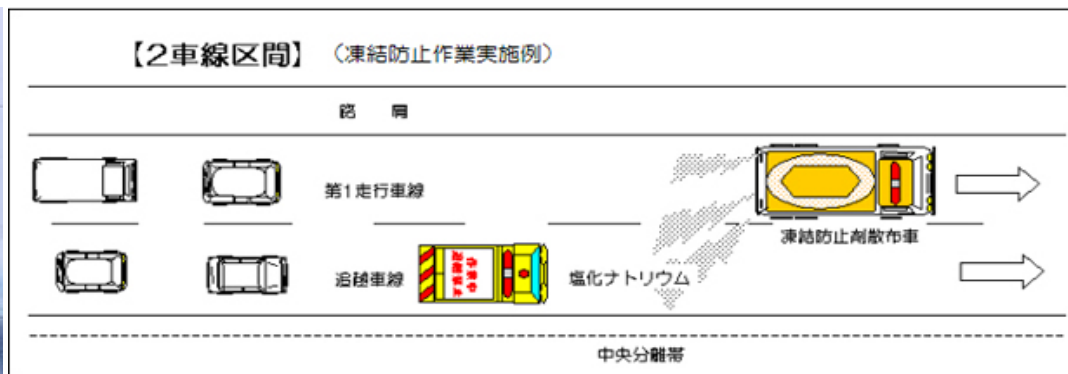




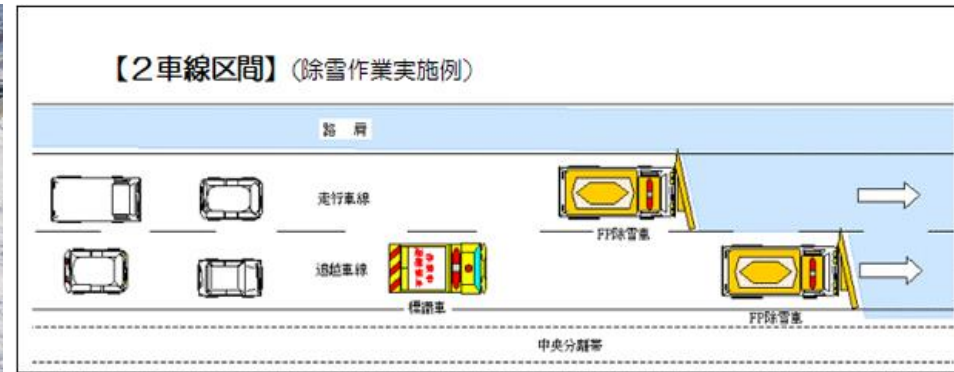
# ■ 高速道路雪氷作業へのご協力について(お願い)

冬の変りやすい道路状況に対して、安全・安心・快適に高速道路をご利用いただくため、凍結防止剤散布による道路凍結防止及び、道路積雪時除雪車を走行させるなど、気象・道路(路面)状況等に  
応じた雪氷対策作業を行っております。

## 【凍結防止剤散布作業】



## 【除雪作業】



セーフティラインによる  
衝突防止対策



お客さまの安全のため、雪氷対策作業中は、無理な追越しは危険ですのでお止めいただき、作業車と十分な車間距離を取り走行していただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

(交通管理者との協議により各県で規制形態が変わる場合があります)

# 運輸防災マネジメントセミナー

## 令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室



**1** 自然災害（雪害）の状況と被害

**2** 自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント

**3** 運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）

（1）経営トップの責務

（2）防災の基本方針

（3）リスク評価

（4）事前の「備え」

**4** まとめ



# 1 自然災害（雪害）の現状と被害

## ■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

**当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！**



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

## ■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

## ■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

## ■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

## ■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等



### 1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



### 2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明



### 3 運輸防災マネジメントのポイント



#### (1) 経営トップの責務

##### 1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

##### 2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



##### 3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

#### (2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。  
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

#### 【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



#### リスク評価の流れ

①自然災害の種別・程度を把握

②被害の規模・程度を見積もる

③事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④対策を実行



事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



### 留意すべき点



#### ① 計画的装備

**リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容**を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

#### ② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

#### ③ 防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

#### ④ 事業継続計画

**防災を経営に必要な事業活動として一体化**して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

#### ⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ⇒ 冬用タイヤへの交換
- ⇒ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ⇒ 冬用ワイパーへの交換
- ⇒ こまめな給油
- ⇒ 十分な車間距離の確保
- ⇒ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ⇒ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

- ⇒ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等

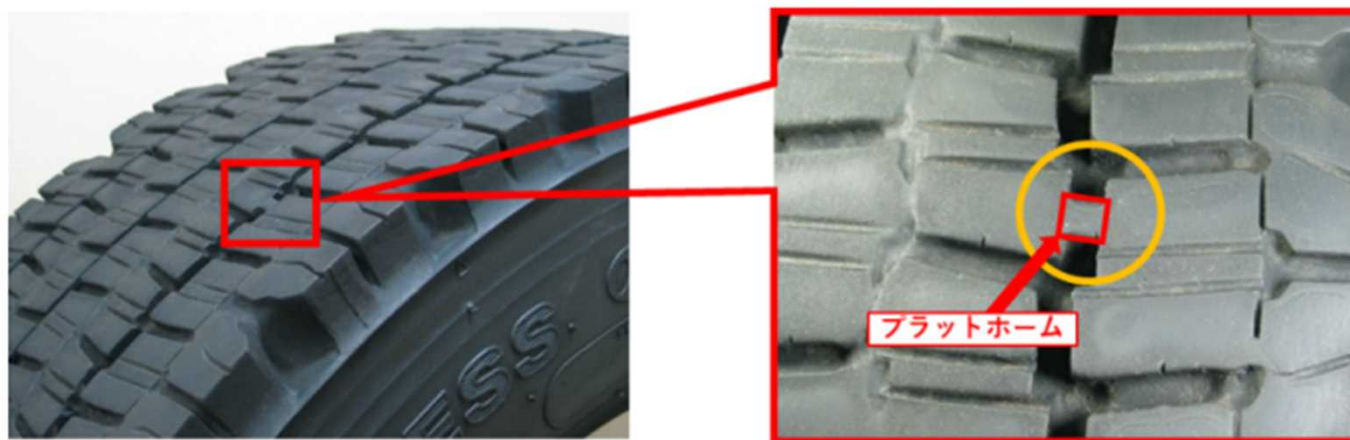


事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善



令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、**溝の深さが**タイヤ製作者の推奨する**使用限度※**よりも**すり減っていないことを確認**しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、**点呼の際に上記事項が確認されていることを確認**しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09\\_hh\\_000264.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html)

#### (4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



#### 留意すべき点

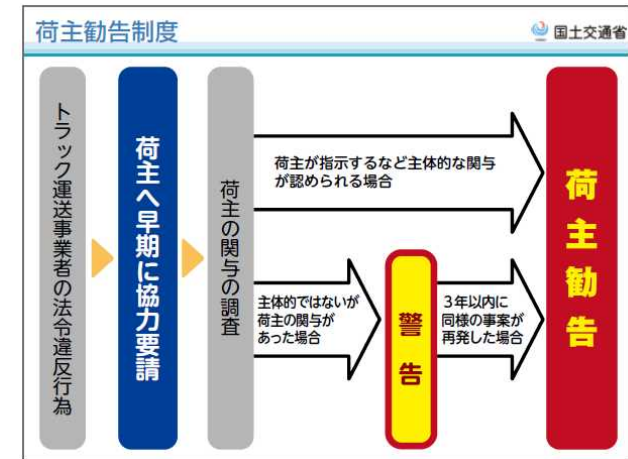
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

**⚠ 異常気象時における措置の目安 ⚠**

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	<b>車の運転は危険</b>	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	<b>走行中のトラックが横転する</b>	輸送することは適切ではない
降雪時 		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時 		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



\* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。



自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



取組

① 豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆ 対策本部の設置基準：新潟地方気象台16時時点で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において **下越海岸部で最大20cmを超えた場合**

◆ 対策本部の体制：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆ 早朝の巡回体制の構築：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき巡回を実施し、**路線毎に運行・運休・迂回運行を判断**。始発5:30までに 利用者へTwitter、HP等で情報提供 → R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ 見直し・改善

	出勤時間	担当 (2班体制→3班体制)	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

## 自動車モード (バス) &lt;新潟交通株式会社&gt;

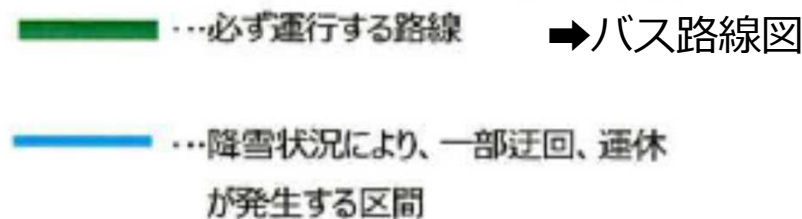


## 取組 (続き)

- ②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪
- ③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には **常に良い状態のタイヤを維持**

## ④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



## 取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

## 4 本日のまとめ

### 1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

### 2. 防災の基本方針

#### 重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



### 3. リスク評価

#### 重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

### 4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

**降雪・積雪情報の入手先**を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施





ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。





国土交通省 大臣官房  
運輸安全監理官室

## 運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

**目的** 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

### 特徴

① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。  
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



### 見どころ

#### ①指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆防災の基本方針 ◆自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆利用者/荷主への情報提供
- ◆関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆教育・訓練等



QRコード

#### ②具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

#### ③関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



### 運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

### 取組事例のHP公開について

33件(鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件)令和5年11月現在

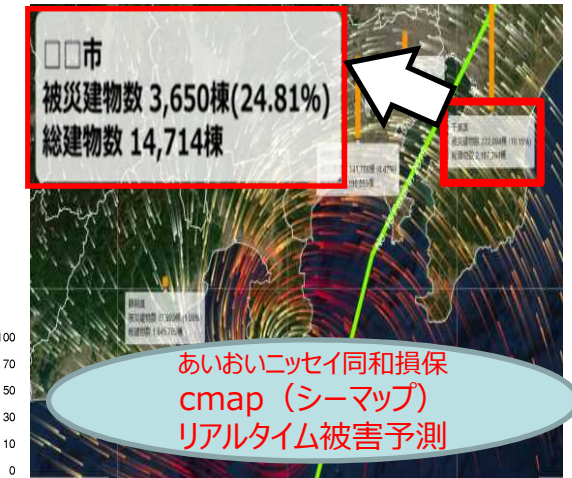
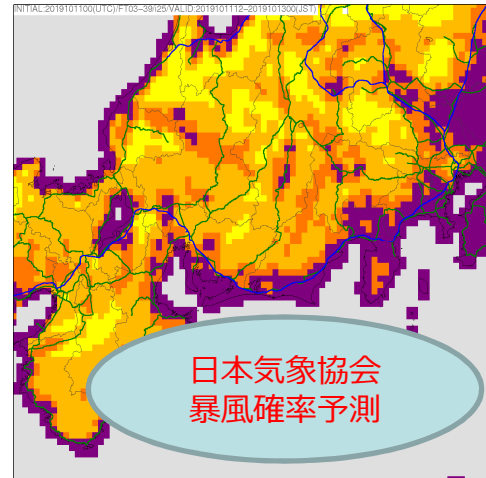


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

## 災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会  
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省  
：川の防災情報  
防災ポータル  
重ねるハザードマップ  
わがまちハザードマップ  
DiMAPS  
大規模氾濫減災協議会制度



## BCP策定等の支援

- 地方自治体  
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針  
BCP策定・運用についての  
専門家派遣  
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行  
：BCM格付融資
- 金融機関等  
：BCP作成支援

## 再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等  
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の  
信用保証協会  
：セーフティネット保証4号  
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合  
：生活衛生改善貸付

## 多言語対応支援

- 日本政府観光局  
(JNTO)  
：コールセンター  
(050-3816-2787)  
アプリ  
(Safety Assistance)  
WEB、SNS





※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menulash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

### 気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

### 地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

### 火山

等

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

### 海洋

等

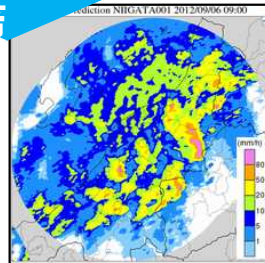


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

## 豪雨・浸水・洪水・高潮対策

### ● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



### ● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

### ● ダムの事前放流判断支援サービス

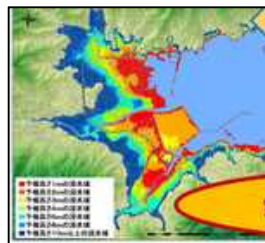
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

### ● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

### ● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

## 危機管理・防災

### ● GoStopシステム

全国の高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

### ● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

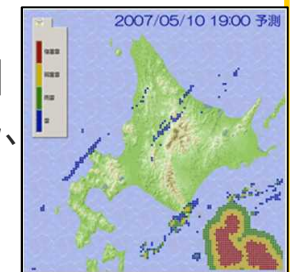
警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



気象  
リスク  
マネジメント  
に関する情報  
を提供

### ● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



### ● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

その他

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開。

## 〈日頃から知ってほしい情報〉

### 被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

### 路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

### 私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

### 身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

## 〈災害時、見てほしい情報〉

### 被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

### 気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

### 逃げるための情報

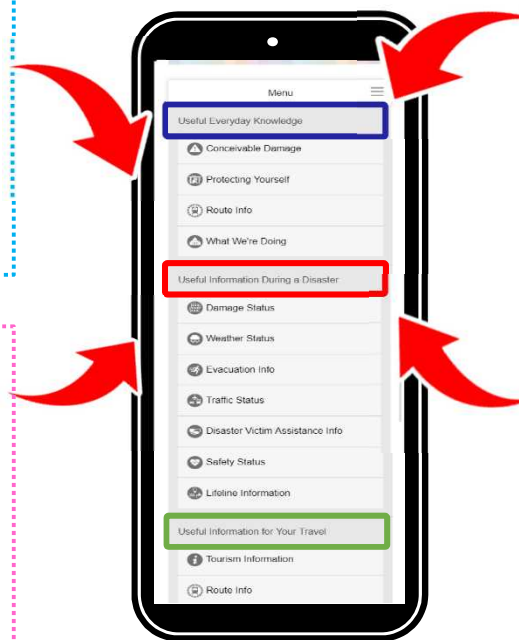
避難所等の防災施設を検索することができます

### 交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが  
**一元化**



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>





出典：国土交通省川の防災情報ホームページ ([http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo\\_ac80\\_fw0.html](http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html))

## ●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

### ○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

### ○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。  
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

### ○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

### ○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

### ○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

### ○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。  
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



([https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo\\_ac80\\_fw0.html](https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html))

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

## 重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

道路冠水想定箇所  
緊急輸送道路  
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

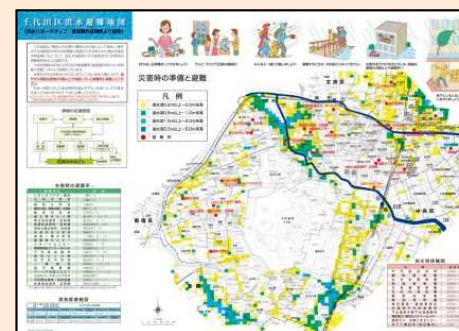
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧



## わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート  
の検討



浸水想定区域

浸水対策  
の検討



土地条件図等

耐震対策  
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

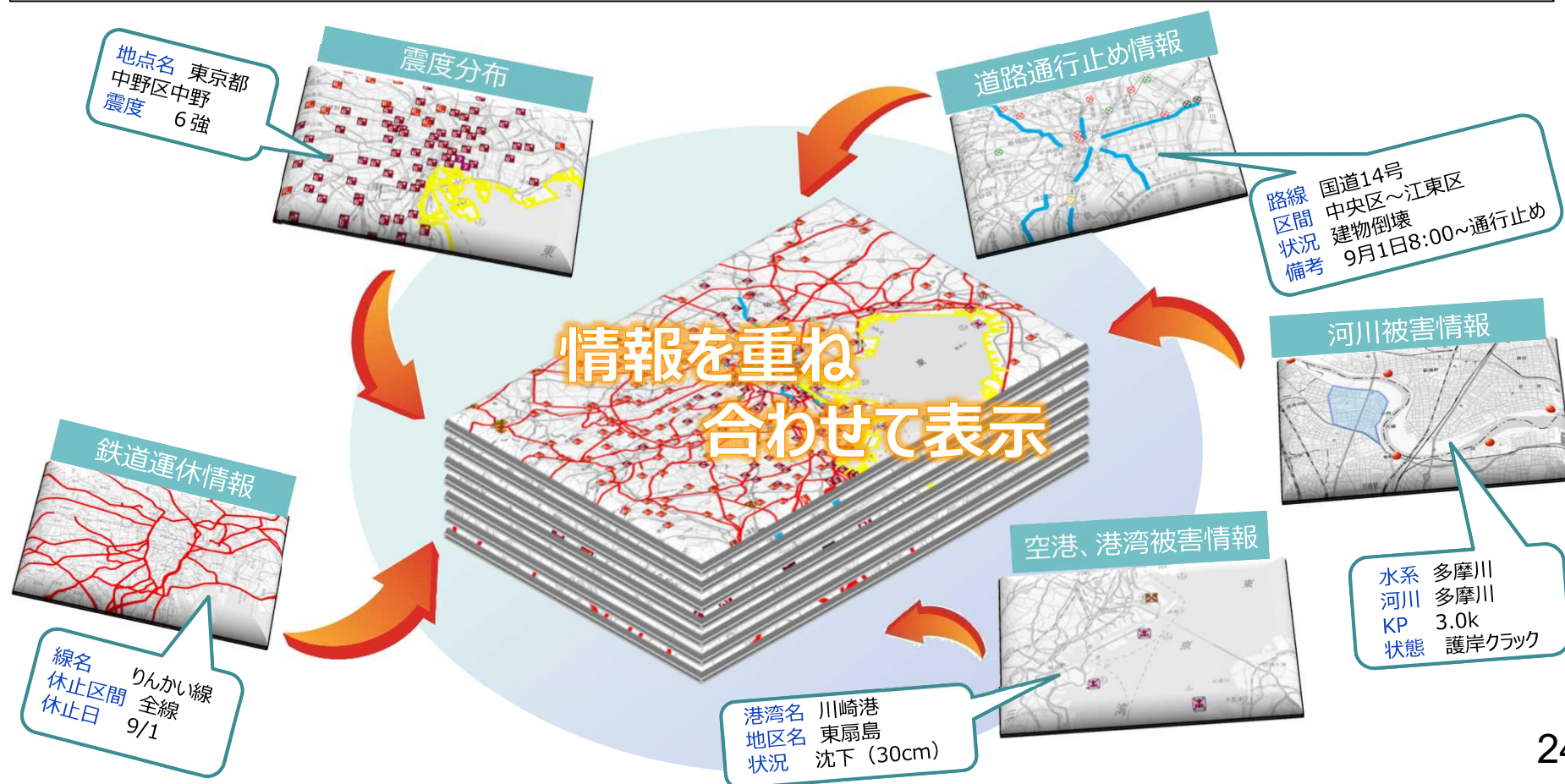
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。







出典：内閣府ホームページ（[http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk\\_04.html](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html)）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

## ＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM : Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

## ＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

[http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03\\_ex.pdf](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf)



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者1人で延べ3～5日程度</li> <li>・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度</li> </ul>
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。  
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



## ●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

### ○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」(050-3816-2787)

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

### ○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



### ○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」(Other内)・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



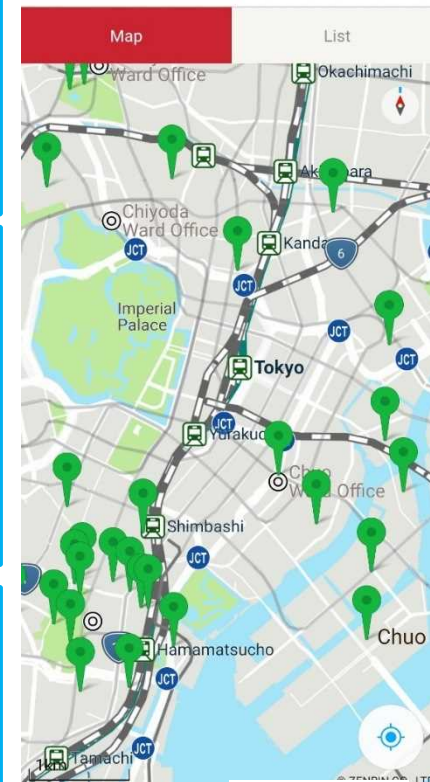
### ○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例  
※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡[https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor\\_support/safetravelinfo.html](https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html)





<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		

# 災害時の政府、地方運輸局等の対応について

---

2023/12/8(金)  
国土交通省 大臣官房  
参事官（運輸安全防災）室

- ✓ 自然災害への対応
- ✓ 報道発表などの呼びかけ
- ✓ 被害情報の収集と対策
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置
- ✓ 国民への情報発信
- ✓ 実際の対応例
- ✓ 事業者の皆様をお願いしたいこと



大雪、大雨、地震等の自然災害に対し、政府はその発生による被害を最小化し、また二次被害の発生を防止するため、以下などの対応を行います。

- ✓ 被害情報の迅速・適確な把握
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置(勢力の投入、関係省庁の対応の調整)
- ✓ 国民への情報発信

← ポストする



首相官邸(災害・危機管理情報)   
@Kantei\_Saigai

【緊急地震速報】

能登半島沖で地震 北陸 甲信で強い揺れ  
強い揺れに警戒してください。

発表日時 5日21時58分

対象地域：石川県能登、新潟県上越、富山県西部、富山県東部、新潟県佐渡、石川県加賀、長野県北部、新潟県中越、新潟県下越

午後9:58・2023年5月5日・84.3万 件の表示

1,296 リポスト 49 件の引用 1,983 件のいいね 12 ブックマーク



九州北部豪雨(2017年)に伴う災害派遣  
防衛省HPより

首相官邸X(旧Twitter)より

大雪や大雨など、自然災害発生のおそれがあるときには、政府は以下などの対応をします。

## ✓ 注意喚起

内閣府主催の関係省庁会議を受けて、国土交通省では本省から地方運輸局等を通じ、事業者の皆様に注意喚起を実施

その他、国土交通省・気象庁の合同記者会見等の報道発表による国民への呼びかけなど

## ✓ 情報連絡体制の確保

地方運輸局等は、災害発生時に速やかに連絡がとれるよう事業者との間で連絡体制を確保

### 注意喚起文書の例

事務連絡  
令和5年9月7日

各地方運輸局 総務部長 殿  
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿  
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第13号に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第13号は日本の南を北上し、8日午後には東海地方や関東甲信地方にかなり接近し上陸する可能性があり、その後は北上を続けて10日朝までには三陸沖で熱帯低気圧に変わる見込みです。

...

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行（航）計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかなTEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備

### 大雪の報道発表の例



令和4年12月21日 気象庁にて

また、実際に災害が発生したときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 関係省庁災害対策会議(大規模な災害の場合)

関係省庁の担当者が官邸に集まり、被害情報の共有・とりまとめ  
→ 対策の検討を行う「関係省庁災害対策会議」(内閣府)の開催、等

内閣府HPより



**令和4年台風第 14 号特定災害対策本部会議  
(令和4年9月17、19、20、21日)**



## ✓ 国土交通省災害対策本部(大規模な災害の場合)

各局の担当者が国土交通省・防災センターに集まり、被害情報の共有・とりまとめ、官邸への報告を行う。

### 国土交通省に求められる情報

以下など

- ・新幹線等、電車の脱線の有無
- ・道路、河川、鉄道、空港、港湾等の社会資本施設の被害、公共交通機関の運行状況
- ・高速道路の閉鎖状況
- ・情報収集体制の状況(防災ヘリの映像等)
- ・緊急輸送道路の確保、応急復旧の見込み
- ・緊急災害対策派遣の状況(準備、派遣、活動状況)
- ・大規模な土砂災害(天然ダム含む)の状況

## 国土交通省 被害状況等のとりまとめ

災 害 情 報
令和 5 年 8 月 14 日 15:00 現在
国 土 交 通 省

### 令和 5 年台風第 7 号による被害状況等について (第 1 報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

#### 1 気象状況 気象庁発表 (8/14 12:00 時点)

○強い台風第 7 号は日本の南にあって北上している。15 日に猛烈な風を伴い近畿地方から東海地方にかなり接近し、紀伊半島付近に上陸する。その後、日本海を北上し、17 日頃には北日本に接近するおそれ。

■ ■ ■

#### (5) 鉄道 (8/14 13:00 時点)

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：2 事業者 2 路線

J R 東海：東海道新幹線

J R 西日本：山陽新幹線

<在来線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：22 事業者 87 路線

J R 東海：東海道線、武豊線、関西線、紀勢線、名松線、参宮線

J R 西日本：北陸線、越美北線、小浜線、東海道線、湖西線、おおさか

#### (6) 航空 (8/14 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

・ 14 日 欠航便 36 便 (JAL 19 便、ANA 6 便、その他 11 便)

#### (7) 海事 (8/14 12:00 現在)

○被害状況等

・ なし

○運休状況等

・ 35 事業者 49 航路運休

#### (8) 自動車 (8/14 12:00 時点)

○運休状況等

・ 高速バス：8 事業者 10 路線運休、一部運休なし

・ 宅配事業者：大手 1 事業者において一部地域で集配遅延

政府は、とりまとめた被害情報を基に対処を指揮します。  
国土交通省をはじめとする各省庁は、政府の指示の下で措置を執ります。

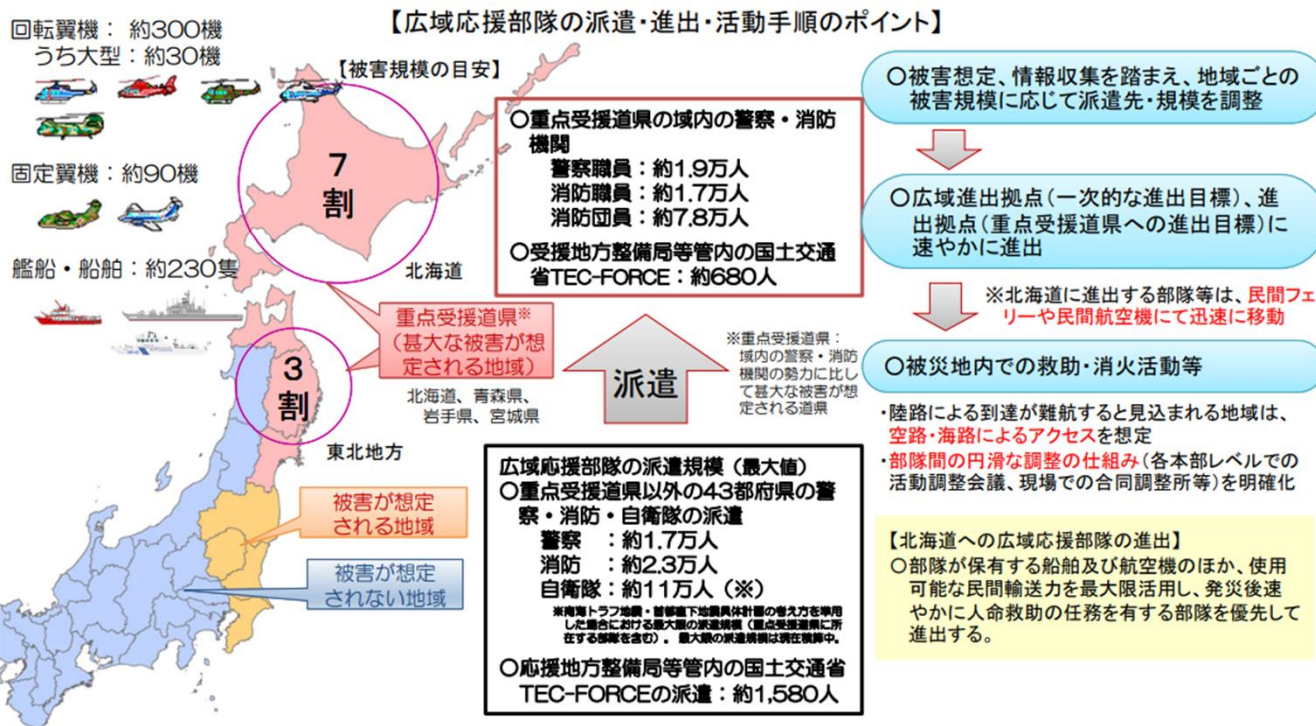
- ✓ 関係省庁と連携した対応  
    応援部隊の輸送、緊急医療物資の輸送等の実施
- ✓ TEC-FORCEの広域派遣

## 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における救助・救急、消火活動等に係る計画の概要



### 趣旨・概要

○日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による甚大な被害に対して、発災直後から、被災道県内の警察・消防を最大限動員するとともに、被災管内の国土交通省TEC-FORCEを最大限動員する。また、被害が甚大な地域に対して、全国から最大勢力の警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊の災害派遣部隊及び国土交通省TEC-FORCE(以下「広域応援部隊」という。)を可能な限り早急に投入するための初期期における派遣方針と具体的な手順等を定めるもの。



(内閣HPより)



なお、あらかじめ決まっている初動対応については、政府からの指示によらず各省庁にて迅速に実施されます。

- ✓ TEC-FORCEの派遣  
都道府県の災害対策本部等にTEC-FORCEを派遣
- ✓ プッシュ型の支援実施  
被災地の支援ニーズの情報収集、支援の実施

## 交通系TEC-FORCEの役割

●地方運輸局等では、各部で職員をTEC-FORCEに任命しており、以下の取組を実施(令和5年4月1日時点で654人が任命)

### 輸送支援班の主たる活動

○被災直後:  
自治体等への輸送支援実施のための  
情報提供・情報収集

#### 【情報収集】

- 所管事業者の被害状況の把握



令和2年7月豪雨  
球磨川第4橋りょう  
(人吉温泉駅方)の調査

- 被災自治体へのリエソンの派遣による情報収集、被災自治体のニーズを本省に報告



令和2年7月豪雨  
(熊本県庁災害対策本部)

#### 【情報提供】

- 国交省(本省・運輸局)で集約した被災状況を被災自治体等に情報を提供

- 国民、事業者への情報提供

○被災状況把握後:  
緊急物資・避難者の輸送、代替輸送、帰  
宅困難者対応に関する調整及び支援

#### 【緊急物資・避難者の輸送】

- 被災自治体等からの支援物資輸送相談を受け、災害支援物資の輸送手段確保のため、地区トラック協会等と調整
- 被災者の避難に関する輸送手段確保の調整



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)  
支援物資輸送の実施

#### 【代替輸送】

- 鉄道等代替バス、船舶の臨時運航の調整



令和元年東日本台風(第19号)  
バスによる代替輸送の実施  
JR東日本 中央線(甲府駅)

#### 【帰宅困難者への対応】

- 列車ホテルの手配や旅客滞留状況に応じた終電時刻以降の運行継続、滞留発生駅へのタクシーの優先配車等の対応を調整

### その他活動

#### 【被災者の生活支援】

- 車検等の有効期間延長

#### 【経済活動・インフラ復旧支援】

- 観光風評被害への対策としての状況調査や自治体からの相談対応



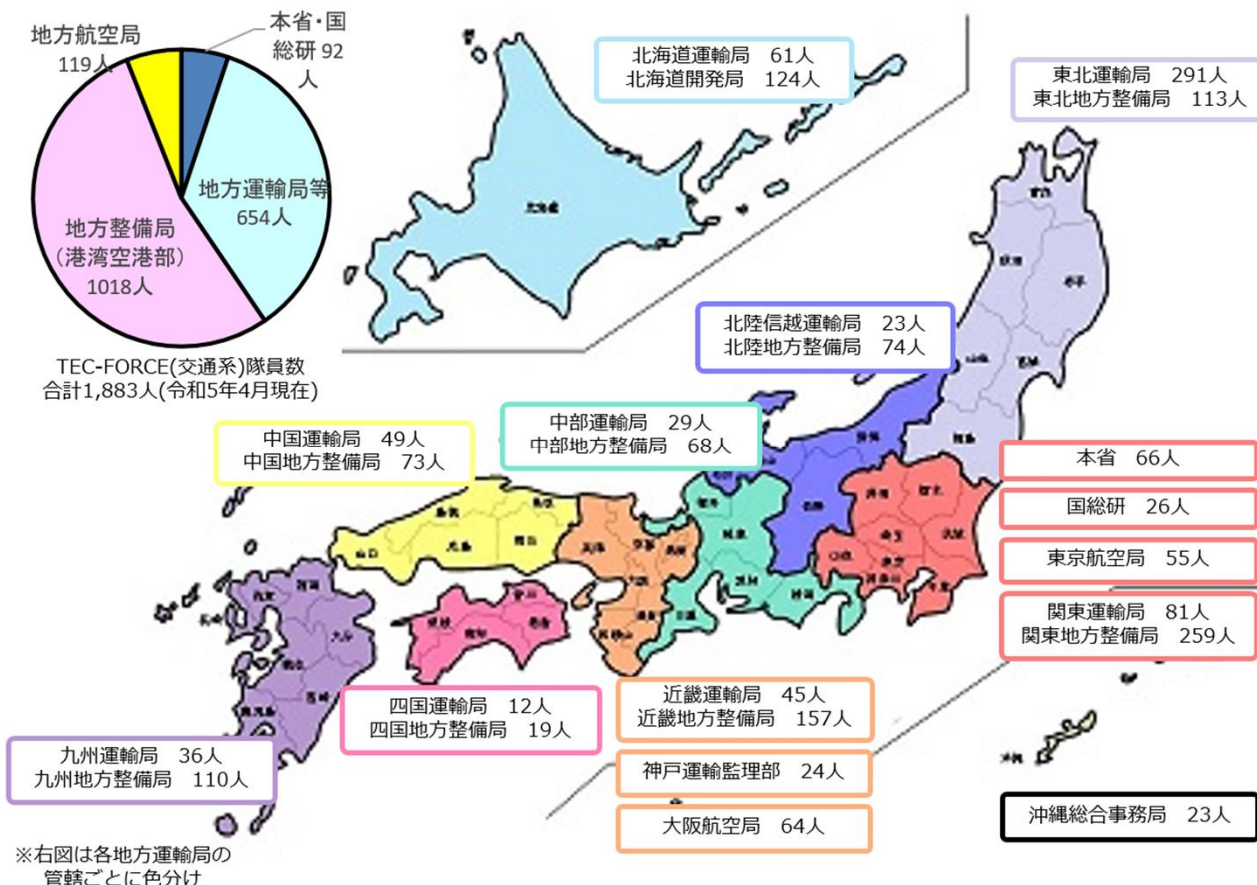
熊本地震(H28.4.14)  
国土交通大臣と別府・由布院の  
観光関係者との意見交換会

- 鉄道施設等の復旧に向けた支援  
令和2年7月豪雨(令和2年7月)



- 今後の鉄道施設の復旧や代替輸送に向けた調整のため、TEC-FORCEを肥後あれんじ鉄道株式会社へ派遣(災害復旧補助関連)

## 交通系TEC-FORCEの任命状況 地方運輸局等で654名(R5.4.1時点)となっている。



## 交通系TEC-FORCE (地方運輸局等) の各年度の派遣実績

令和5年度	31人日(9/30時点)
令和4年度	46人日
令和3年度	125人日 (うち、R3年7.1からの雨 54人日)
令和2年度	208人日 (うち、R2年7月豪雨 140人日)
令和元年度	499人日 (うち、令和元年台風 413人日)

## ●国民への情報発信

政府は、とりまとめた被害情報を基に国民への情報発信を実施

### 内閣HPより



中野政務官(左)、星野副大臣(右)  
令和5年1月20日からの大雪等に係る  
関係省庁災害警戒会議  
(令和5年1月23日)

### 首相官邸HPより



磯崎仁彦内閣官房副長官会見  
大雪の被害情報、政府の対応等について  
(令和5年1月25日午後)



## 令和5年1月20日からの大雪(2023/1/20~26頃)

### 気象状況(国土交通省HPより抜粋)

○24日(火)から25日(水)にかけて、日本の上空にこの冬一番の強い寒気が流入し、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。

○25日にかけて、西日本から北陸地方を中心に大雪となり、京都市など普段雪の少ない地域でも積雪となった。中国地方では24日夜に短い時間に積雪が急激に増え、厳重な警戒を呼び掛けた。25日の最低気温は南西諸島を除き全国的に氷点下となり、広い範囲で過去10年の最低気温に近い冷え込みとなった。…

### 会議等

1/20 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

1/23 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

### 報道発表等

1/20~23 関係地方整備局、運輸局、気象台等より  
大雪に対する呼びかけを実施

(東北、北信、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)

1/23 国土交通省、気象庁による大雪の緊急発表

1/25、26 官房副長官会見

### 被害状況等のとりまとめ

1/23~27にかけ、計10回実施



R5.1.24~25頃 JR西日本プレス発表資料より  
鉄道車両15本の駅間停車発生

NEXCO中日本 名古屋支社 @c\_nexco\_nagoya · 32分  
#新名神 渋滞解消に向け除雪作業を実施しております。



R5.1.24~25頃 NEXCO中日本のHPより  
新名神 車両滞留発生



## 被害情報等の東北運輸局(支局等含む)への連絡先

### ●鉄道

業務を所管する東北運輸局鉄道部の窓口の連絡先を一度ご確認ください。  
もし一度運輸局に確認したい時にはお気軽にお問い合わせください。

### ●自動車・海事・物流・観光等

業務を所管する東北運輸局(運輸支局及び海事事務所も含む)の窓口や協会等の  
連絡先の再確認をお願いします。

### ●航空関係

運休・施設被害: 航空局総務課 TEL:03-5253-8111(内線48-113)



# 運輸防災マネジメントセミナー ～降積雪期の安全確保に向けた取組～

国土交通省 東北運輸局  
自動車技術安全部 保安・環境調整官  
令和5年12月15日



# 物流・自動車局における大雪時の大型車立ち往生防止対策

## 3つの柱

### 1. 車両対策

- 冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底

### 2. 運送事業者対策

- 輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査

### 3. 荷主対策

- 荷主への周知体制の確立



# 1. 車両対策

## ○自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。

### 冬用タイヤの選び方

- ❑ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- ❑ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレークマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレークマーク  
タイヤの側面に表示  
されています。



# 1. 車両対策

- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。

## 冬用タイヤの使用限度

Ⓜ 溝深さが50%以上残っていることを「プラットホーム」で確認しましょう。（一部海外メーカー品は除く）



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

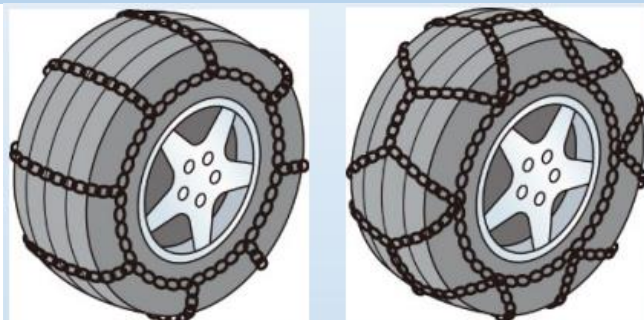
# 1. 車両対策

- チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

## チェーンの携行・装着



- Ⓐ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- Ⓐ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。



大型車用金属チェーン

## 2. 運送事業者対策

### ○トラック・バス運送事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検※の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。

#### 【点検項目】

- (1) 気象情報（大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。）や道路における降雪状況等を適時に把握することにより、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行える体制を構築しているか。
- (2) 冬用タイヤの溝の深さが、タイヤ製作者の推奨する使用限度を超えていないことの確認を行っているか。
- (3) 大雪及び暴風雪に備え、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等、輸送の安全確保が図られているか。

※ [https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000003.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html)

- 運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
- 雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。



## 3. 荷主対策

### ○荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

### (その他) 気象情報の活用

- ・気象庁 HP の「今後の雪」も活用のうえで、事前に天気予報をご確認ください。 <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

## VIII. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

### 2. 危険予測のポイント

#### (2) 悪天候・夜間の危険への配慮

##### ②降雪時・積雪時

##### ○無理な運行は避ける

吹雪などで視界が悪いとき、さらに天候の悪化のおそれがあるときなどは、無理な運行は避け、安全な場所に一時退避するなどして様子を見るように心がけましょう。

##### ○十分な車間距離を保ち、スピードを落とす

降雪時・積雪時には、スリップした前車に追突する事故も多く見られますので、車間距離は通常の2倍以上をとり、スピードを落として慎重に走行することが必要です。交差点付近など、交通量の多い場所では圧雪状態となって滑りやすくなっていることもあるため、いつも以上に注意して運転することが大切です。

##### ○チェーンの装着

積雪路面となった場合、道路情報板ですべり止め規制などの表示が出たときなどには、早めにチェーンの装着をすることが必要です。スタッドレスタイヤは、雪道や凍結した道路での走行性能には優れていますが、決して万能ではありません。スタッドレスタイヤの過信は禁物であることを、運転者は認識しましょう。また、雪道への対応の遅れは、大規模な立ち往生を発生させることにも繋がります。チェーンを装着していなかった車両が登り坂を登れなかったことや、装着していても勾配が大きく登り坂を登れなかったこと等により後続車両が滞留した事例を説明し、状況に応じた早めのチェーン装着や勾配の大きな経路の回避等の対応が必要であることを理解させましょう。



## 大雪による大規模な立ち往生

### 《事例1》

平成26年2月、関東甲信地方での記録的な大雪により、東名高速道路において、冬用タイヤやタイヤチェーンを装備していなかった車両が数百台スタック（登り坂を登れなくなり立ち往生すること）したことで、後続の車両が高速道路本線上に滞留し、最長40kmの渋滞が発生。全ての車両を救出するまで24時間程度かかった。

（参考：NEXCO中日本「冬の雪道ドライブガイド」  
<http://www.c-nexco.co.jp/special/snow/>）



### 《事例2》

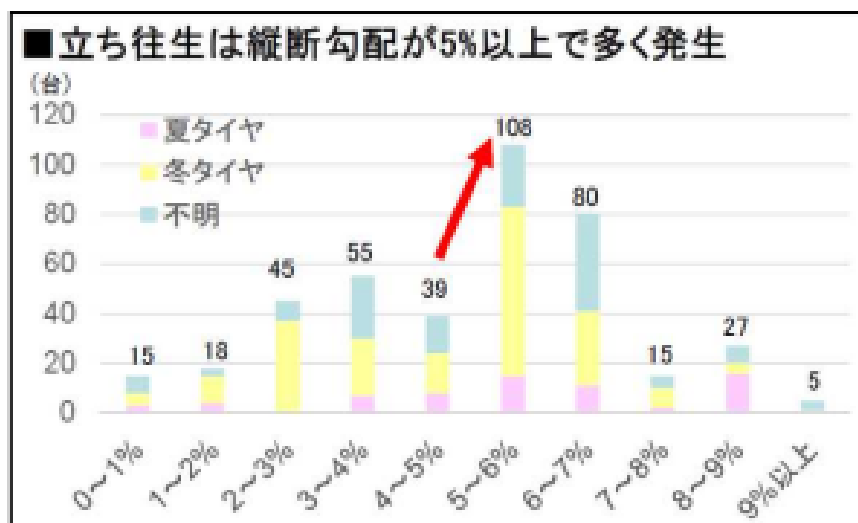
平成30年1月、東京都心での記録的な大雪により、首都高速道路において、複数の車両が登り坂を登れなくなり立ち往生となった。この影響での後続車両の立ち往生により、10km以上の渋滞が発生。登り坂の最大勾配は8%であり、登れなくなった車両には、チェーンを装着していた大型トラックも含まれる。





## 雪による立ち往生は勾配5%以上で多く発生

冬タイヤを装着していても、縦断勾配が5%を超える登り坂区間で、立ち往生が多く発生しています。



※写真はイメージ

(国土交通省道路局作成、「冬期道路交通確保対策検討委員会」資料より)

別紙1 国土交通省

## 雪道での立ち往生に注意!

### -大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



### タイヤの選び方

オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で路面と一部の可能な積雪状況を想定したタイヤです。

路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、スタッドレス表記(国内表記)又はスノーフレックマーク(国際表記)表示されている冬用タイヤを全車輪に装着してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレックマーク  
タイヤの側面に表示されています。

### タイヤの使用限度

深さが50%以上残っていることを「プラットフォーム」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)

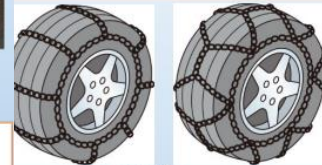


残り溝深さが「プラットフォーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

### 効果

駆動輪に装着すると、冬用タイヤより積雪・凍結時、登坂性能が向上します。

サイズや締め方が不適切な場合、タイヤとの間で効果が得られません。



大型車用金属チェーン

### 携行・装着

が発表されるなど相当量の積雪が見込まれる場合等、チェーンを携行してください。

は、立ち往生する前に早めのチェーン装着を心掛け、立ち往生した後の装着は極めて困難です。

### 性能限界

冬用タイヤ及びチェーンのいずれも性能限界があり、万能ではありません。例えば、車両のバンパーに接触するような新雪の深い積雪路では走行困難です。

運行前に道路・気象情報を確認し、運行の可否や経路を検討してください。

### 発生しやすい車両

特徴を持つ車両は、積雪路等において特に立ち往生がしやすい傾向にあるので注意が必要です。

### 駆動車



に比べて駆動軸が重い。

### 連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

### 荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

### 年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

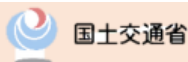
※発進時等に駆動軸の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」  
自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省  
物流・自動車局  
審査・リコール課  
電話番号: 03-5253-8111 (内線: 42363)  
03-5253-8594 (直通)

別紙2



# 冬用タイヤの溝深さに注意！

## -大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-

- 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するなど適切な措置を講じてください。
- 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**

⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと**挙動が安定しません**。

冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ**50%**を示す「**プラットホーム**」で、**運行前に必ず確認**してください。（一部海外メーカー品は除く）

積雪・凍結道路での運行前に、**運転上の注意点を把握**

⇒ 積雪・凍結道路においては、  
 ・**低速ギアでゆっくり発進**  
 ・**坂道を登り終わるまでギアチェンジしない**  
 など、運転操作の注意が必要です。



## プラットホームとは？

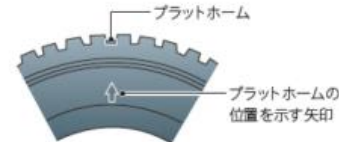
### ●プラットホームとは

日本国内における道路交通法施行細則等によって定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分をいいます。



### ●プラットホームの位置

プラットホームの位置を示す△がタイヤの両側面にそれぞれ周上4ヶ所以上に表示されています。



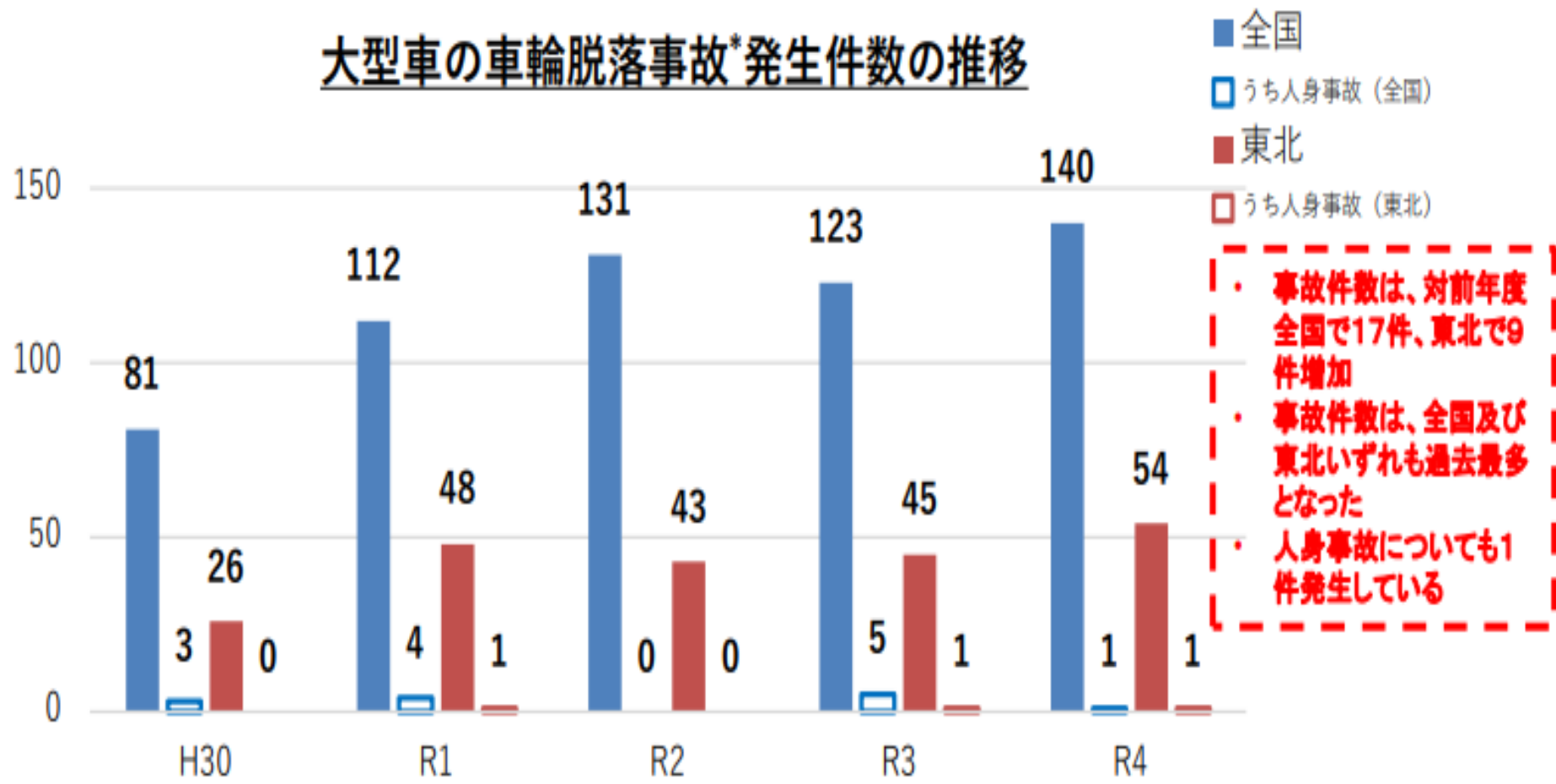
残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

## 運転上の注意点

- ① 低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- ② 急坂道では登り終わるまで低速ギアを使用し、ギアチェンジしない。
- ③ 急発進、急加速、急旋回及び急停止は避ける。柔らかくブレーキ。
- ④ カーブに入る前に減速する。速度は控えめ。十分な車間距離。
- ⑤ 冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う。
- ⑥ 冬用タイヤを乾燥路や湿潤路で使用する場合は走行速度に注意する。



## 大型車の車輪脱落事故\*発生件数の推移



※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故





年末年始の輸送等

# 安全総点検

令和  
5年

12月10日(日)~

令和  
6年

1月10日(水)



## 重点点検事項

- 安全管理の実施状況
- 災害時等の通報・連絡・指示体制
- テロ対策
- 感染症対策



国土交通省



事務連絡  
令和3年1月28日

荷主関係団体等 へ

農林水産省食料産業局食品流通課  
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室  
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

#### 【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。